令和4(2022)年度

公民館事業報告書

黒磯公民館
「キッチンガ～デン教室」

厚崎公民館
「成人セミナーアクト」

稲村公民館
「オペラの楽しみ方講座」

東那須野公民館
「はじめての写経体験教室」

高林公民館
「倍センまつり」

西那須野公民館
「わんぱく大学」

南公民館
「陶芸教室」

大山公民館
「那須野が原の開拓と大山の歴史」

ハロープラザ
「郷土史講座　塩原を掘る」

那須塩原市公民館

心豊かに　学び続けることのできるまち　那須塩原

～自分らしく たくましく 未来を拓く人づくり～

Fun & Exciting Education in Nasushiobara

令和４(2022)年度公民館事業報告書 目次

公民館における新型コロナウイルス感染症への対応経過 …… 1

黒磯公民館事業報告書 …… 2

厚崎公民館事業報告書 …… 7

稲村公民館事業報告書 …… 13

とようら公民館事業報告書 …… 19

鍋掛公民館事業報告書 …… 23

東那須野公民館事業報告書 …… 28

高林公民館事業報告書 …… 36

西那須野公民館事業報告書 …… 42

狩野公民館事業報告書 …… 48

南公民館事業報告書 …… 54

西公民館事業報告書 …… 61

三島公民館事業報告書 …… 65

大山公民館事業報告書 …… 72

ハロープラザ事業報告書 …… 77

塩原公民館事業報告書 …… 86

令和4年度公民館及び関係施設利用状況一覧表 …… 90

公民館における新型コロナウイルス感染症への対応経過		
日付	**栃木県の対応内容**	**公民館の対応内容**
令和４年 3月21日	県まん延防止等重点措置解除	
3月22日	レベル２へ引き下げ※旧警戒度レベル	
3月25日		公民館貸館業務の再開（ニューノーマル） ▶利用時間、貸館内容を通常へ
6月25日	レベル1へ引き下げ※旧警戒度レベル	
7月1日		利用者名簿の提出廃止
8月5日	ＢＡ.５対策強化宣言（～9/25）	
9月26日	レベル２へ移行※旧警戒度レベル	
11月25日	県警戒度レベル見直し	
令和5年 1月19日	医療危機警報（～R5.2.7）	
2月8日	レベル2へ引き下げ	
3月13日	マスク着用の考え方見直し	マスク着用の考え方見直し
3月16日	レベル1へ引き下げ	
4月1日		検温器の撤去・利用後の消毒作業廃止
5月8日	新型コロナ５類感染症へ変更	各部屋の収容人数を通常へ

令和4(2022)年度　黒磯公民館事業報告

1　生涯各期にわたる学びの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	子ども探検隊 （黒磯小児童）	子供たちの豊かな心や創造性を育むことを目的に体験活動、移動教室、ものづくり、体験談視聴等を実施した。	6月～1月 （全7回）	21人 （111人）	学校以外の学びの場において、様々な分野の活動を通して、異年齢集団が互いに交流し楽しく活動できた。	
2	キッチンガ～デン教室 (市民)	有機栽培による野菜作りを学び、班ごとに育てたい野菜を選択し、学んだ知識を基に主体的に野菜作りや畑の管理を行った。また、親子で参加しやすい環境づくりにも配慮した。	5月～11月 （全10回）	15人 （105人）	作業については、班編成による活動を中心とし、自主的に畑の管理を行うなど、受講者間の連携も図られていた。今年度は、初の試みとして、そばの栽培も実施した。	
3	いきいきセミナー （地区内成人）	文化活動や、健康づくりなどを通して、知識を深め仲間づくりを行うことを目的に、「いきいきセミナー」を実施した。	1月20日	16人	女性のみの参加であったので、次年度からは、男女成人を対象とした事業への見直しを図る。	
4	わかば学級 （地区内高齢者）	健康維持、生きがいづくり、仲間づくりを目的に、健康体操、生活に役立つ講話、ものづくり、移動教室等、幅広い分野の講座を実施した。	6月～1月 （全7回）	30人 (152人)	受講生は、毎回、講座に楽しく参加し、仲間との交流を図りながら、達成感を味わうことができた。３年ぶりに実施した移動教室も好評を得た。	
5	百人一首かるた教室 （市民）	伝統文化の普及、継承を図ることを目的とする。また、学習成果を活かす場として、「関東北かるた大会」に参加する。	4月～3月 (全25回)	10人 (175人)	新型コロナウイルス感染対策を踏まえ、対面ではなく、読み上げ機を使用する等工夫して練習に取り組むことができた。	
6	【新規】 ICT推進講座	幅広くICTに関する知識を深め、技能の習得を図る。	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	
7	ペットボトルロケット作り教室及び飛ばし大会 （市内児童及び保護者）	ペットボトルロケットづくりを通して、ものづくりへの関心を高めるとともに、夏休みの親子の思い出づくりを支援する。	7月30日	36人	３年ぶりの開催となった飛ばし大会は、大いに盛り上がり、飛距離では最高記録も出た。親子でものづくりの楽しさを満喫することができた。	黒磯地区民生児童委員協議会・黒磯地区更生保護女性会との共催

8	夏休み子ども教室	感染が急拡大する中、感染予防対策を徹底し実施した。本の選び方から学び、自身が興味を持った本により、受講者全員が楽しく読書感想文を書き上げることができた。	7月26日 8月2日 8月5日 （全3回）	10人 （30人）	「読書感想文」の書き方のコツを学ぶだけでなく、読書の大切さ、楽しさに気付く機会となった。最後に会場のみるるを背景に写真撮影を行ったが、全員が安堵の表情を浮かべていた。	
9	【新規】 ものづくり講座 「クラフトバンドで作るバッグ」 （市民）	クラフトバンドを使用し、A4サイズに対応した手提げバッグを編み上げた。クラフトバンドの色は、紺、ピンク、茶から好みの色を選択し制作した。	10月23日 10月30日 （全２回）	13人 （26人）	実用的なバッグが手頃な価格で作れたため、受講生は、大変満足していた。初心者が殆どであったが、講師の丁寧な指導により、楽しく取り組んでいた。	
10	ペアで仲良くクッキング （市民）	新型コロナウイルス感染防止の観点から募集をペアまたは、単独で５組以内 とし、クリスマスのシュトレン作りを実施した。	11月26日	7人	シュトレンが焼き上がるまでの時間を利用し、講師から薬膳に関する話を聴くこともでき、受講生は満足していた。	
11	冬休み子ども教室	小学校３年生から６年生を対象に、冬休みの課題「書初め」を書き上げた。	1月4日 1月5日 （全2回）	2人 （4人）	少人数であったため、個別に講師の指導を受けることができた。作品の出来映えもよく、受講者は満足していた。	

2　家庭教育の充実

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	親子ふれあい奉仕作業 （黒磯小）	全２回実施する予定であったが、コロナ禍のため１回の実施となった。感染拡大の状況を鑑み、子供は不参加とし、ＰＴＡのみによる実施となった。 （家庭教育支援事業）	10月22日	113人	コロナ禍においてできる範囲の活動を実施することができた。	学校PTA事業部との共催
2	ＰＴＡ学年行事 （黒磯小）	各学年部会が中心となり、親子で行う行事を企画し、実施した。 （家庭教育支援事業）	6月２９日 ～1月31日 （全６回）	(454人)	各学年の活動を通して、親子の絆を深めるとともに、親同士の交流も図られ、楽しい思い出を作ることができた。	学校PTA学年部会との共催

3	親子ものづくり教室 (黒磯小)	学年部会が中心となり、親子で卒業式に使用するコサージュ作りを行った。 (家庭教育支援事業)	2月8日	73人	講師の手配や企画運営等、６学年部会を中心に円滑に行うことができた。ものづくりを通して、卒業への思いと、親子の絆を深めることができた。	学校PTA学年部会との共催
4	親子奉仕作業（黒磯中）	6月に2年生の親子、11月に3年生の親子による校庭の草取り、樹木の剪定、落ち葉清掃等の奉仕作業を行った。 （家庭教育支援事業）	6月19日 8月21日 11月20日 （全３回）	(290人)	作業を通して、環境美化への関心や態度を育むとともに、親子関係の構築を図る機会を得ることができた。	学校PTA学年部会との共催
5	押し花コースター作り（黒磯中）	講師を招聘し、PTAを対象に、クリスマスのオーナメントとしても飾れる押し花コースター作りを実施した。 （家庭教育支援事業）	12月20日	13人	ものづくりを通して、達成感を味わい、PTAの連携を深めることができた。	
6	立志式記念行事（黒磯中）	2学年を対象に、「絵手紙教室」を実施し、親への感謝の気持ちを表す機会とする。 （家庭教育支援事業）	2月16日	65人	絵手紙に、親への感謝の思いや、今後の決意を表現することで、親子の信頼関係を深めるとともに、将来を展望する機会を得た。	

3　健康づくり・生涯スポーツの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	いきいきハイキング （地区内住民）	地区内住民の健康づくりと交流を図るため、６月に塩原「雄飛の滝線歩道」のハイキングを実施した。	6月23日	10人	自然と触れ合うとともに、受講者間の交流を図ることができた。	
2	お楽しみレクリエーション大会 （地区内住民）	レクリエーション競技を通して、地区内の住民の交流を図る。	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	実行委員会主催

4　芸術文化活動の推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	第29回くろいそ公民館まつり （市民）	公民館利用団体による「くろいそ公民館まつり」を3年ぶりに開催し、活動発表や作品の展示を行った。	11月19日 11月20日	600人	飲食を伴う出店は無しとしたが、サークルによる活動発表・展示を行い、公民館を利用している団体だけでなく、地域住民等多くの来館者があり、好評を得た。	

2	第66回関東北かるた大会 （かるた愛好者）	代替事業として、栃木県内のかるた会を対象とした練習会「栃木県内かるた会交流会」を開催した。	2月５日	51人	新型コロナウイルスの影響により大会は中止となったが、県内のかるた会が集まり、練習を通じて交流を図ることができた。	

5　地域教育力の向上

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	花いっぱい活動 (黒磯小)	近隣の黒磯中学校、黒磯高校の生徒と一緒に花苗を植える活動を通して、地域の環境美化に貢献するとともに、地域住民との連携を図る。（地域学校協働本部事業）	5月24日 11月1日 （全２回)	(107人)	黒磯小・黒磯中・黒磯高校が一緒に花苗を植える活動を通して、地域の環境美化に貢献することができた。また、地域の活性化に目を向ける契機となった。	
2	感謝の集い （黒磯小）	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、一堂に会さず、代表児童がお世話になった方々へ手紙と花束を手渡し感謝の気持ちを伝えた。（地域学校協働本部事業）	11月21日 11月25日 (2回)	(17人)	全校児童が感謝の手紙を書く活動を通して、日頃、支えてくれている地域の方々への感謝の気持ちを醸成することができた。	
3	昔の遊びをしよう （黒磯小）	日本の伝統的な遊びを知り、生活に取り入れようとする意欲を高める。（地域学校協働本部事業）	1月24日	40人	様々な遊びを知り、日本の伝統文化に親しむことができた。現在の遊びとの差異に気付き、身近な遊びを工夫することができた。	
4	ボランティアで心を磨こう （黒磯中）	黒磯公園等、地域の清掃をはじめ、福祉委員会や校外班を母体として緑化活動を行う。（地域学校協働本部事業）	4月～3月	－	新型コロナウイルスの影響により中止	
5	一人一鉢菊づくり （黒磯中）	全生徒が菊を栽培した。（地域学校協働本部事業）	5月～11月	（135人)	公民館等、地域の施設に展示することで、菊づくりの成果を共有することができた。	
6	キャンドルナイト用キャンドル作り (黒磯中)	地域の行事に積極的に参加し、沢山の方々と関わることで、地域への理解を深めるとともに、愛着心を育てる。	6月1日 12月10日	（44人)	年２回行われる行事に、生徒は意欲的に参加し、地域への理解を深め、地域に貢献しようとする態度を育成することができた。	

7	和楽器の授業（黒磯中）	地域の和楽器演奏家の専門的な指導を通して、伝統楽器への知識と伝統文化について学ぶ。（地域学校協働本部事業）	3月20日	70人	日本の伝統文化や箏について理解を深め、表現する楽しさを味わうことができた。	

6　生涯学習情報の提供・学習活動の支援

No.	事業名	事業内容	期日	評価
1	公民館だよりの発行	毎月20日に発行し、公民館事業のお知らせ、報告等を行った。	通年	班回覧や館内掲示、ホームページへの掲載により、公民館事業の募集や報告のツールとして、有効な手段であった。
2	黒磯地区子供会育成会連絡協議会活動支援	黒磯公民館地区内の子ども会育成会の運営及び各種事業活動に対する支援、協力を行う。	通年	新型コロナウイルスの影響により、夏休みの親子ふれあい研修をはじめ、各種事業が中止となった。
3	黒磯地区婦人会活動支援	婦人会が実施する各種活動に対する支援、協力を行った。	通年	総会の資料作成など、主に事務的な作業の支援を行った。３年ぶりに視察研修（真岡・さくら市方面）も実施した。
4	いきいきふれあいセンター利用団体活動支援	各種団体の活動、施設利用について、支援、協力を行った。	通年	利用に関しては、消毒作業の実施等、感染予防対策に協力をいただいた。円滑な利用を図るため、感染状況に応じた感染予防対策の緩和も
5	黒磯公民館地域紹介動画の配信	公民館地域・事業等の紹介をインターネット（You Tube）で配信した。館内においても放映し、地域への情報発信を行った。令和2年10月配信開始	視聴回数962回	情報化が進む中、有効な情報発信手段であるため、今後も定期的な更新が必要とされる。

令和4(2022)年度　厚崎公民館事業報告

1　生涯各期にわたる学びの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	成人セミナー 「アクト」 （地区内成人）	今年度より新設。教養・芸術・歴史探訪・ICT・ものづくり等、様々な分野のセミナーを実施。	５月～２月 （実施４回、中止２回）	5/26　17人 7/24　24人 10/20　19人 11/17　9人 （69人）	学級制ではなく、興味のあるセミナーにのみ参加できるようにしたところ、初めて公民館を利用したという方や、夫婦で参加される方もあり、公民館利用者の幅が広がった。	
2	高齢者学級 「ときわ」 （地区内高齢者）	生きがいや仲間づくりのため、「教養講座」「健康講座」を行う。	7月～２月 （７回）	54人 （182人）	市のごみ処理の現状や健康講座、落語鑑賞など幅広く学びや体験ができた。	
3	令和3年度子どもチャレンジヒップホップダンスクラブりす・うさぎ合同解散会 （地区内小学生）	ヒップホップダンス発表と解散会	５月（１回）	13人	令和3年度にコロナ禍により閉講式を中止したため、解散会と保護者向けにダンス発表をすることができた。	
4	子どもチャレンジクラブ （地区内小学1～3年生）	りすコース ヒップホップダンスの基礎を学ぶ。	6月～12月 （実施8回、中止1回）	21人 （152人）	ダンスによって、子どもたちの運動不足の解消ができた。大正堂みるひぃホールでダンス発表をすることができた。	
5	子どもチャレンジクラブ （地区内小学3～6年生）	うさぎコース ヒップホップダンスの上級の振り付けを学ぶ。	6月～12月 （実施8回、中止1回）	12人 （88人）		
6	子どもチャレンジクラブ （地区内児童及び家族）	農園お野菜クラブ 農園において野菜の育て方や収穫の体験活動を行う。	6月～１０月 （3回）	45人 （97人）	屋外において、感染リスクを回避し、親子で安心して自然を楽しく学ぶことができた。	
7	夏休み 宿題サポート塾 （地区内児童生徒）	夏休みの宿題である書道を指導する。	７月 （５回）	51人 （51人）	公民館利用団体等7人が講師となって手厚い支援ができた。	

2　家庭教育の充実

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	埼玉小ＰＴＡ移動教室（保護者・教員）	那須高原今牧場の牧場見学と、キャンドルづくり体験を行った。 （家庭教育支援事業）	6月21日 （1回）	13人 （13人）	地域の魅力を知ることができ、地域活性化を考えるきっかけとなった。	ＰＴＡ教養部との共催
2	埼玉小ＰＴＡ家庭教育支援事業（児童・保護者）	親子で黒磯消防署の見学を行った。 （家庭教育支援事業）	2月26日 ３月5日 （2回）	50人 37名 （87人）	定員を大幅に超える申込みがあり、急遽２日間に分けて実施した。親子で防災・災害について考えるきっかけとなった。	ＰＴＡ教養部との共催
3	埼玉小親子ものづくり教室（児童・保護者）	竹で編む壁掛け・缶ケースフラワー・段ボール織のミニポーチ・ストローで作るヒンメリづくりを実施。 （家庭教育支援事業）	７月27日 （１回）	186人 （186人）	講座回数を増やして密を避けて実施できた。また、当日参加が難しい方に向けに、お家でもできるように、キット配布を行ったところ、多くの参加者を得ることができた。	ＰＴＡ教養部との共催
4	埼玉小 ＰＴＡ家庭教養支援事業新聞（児童・保護者・教員）	【保護者発行】 埼玉小学校PTA教養部役員（保護者）が「埼玉smile通信」を発行し、保護者に学びの機会や子育て情報の提供、悩みの共有をした。（家庭教育支援事業）	12月・１月 （2回）	発行対象者数 530人 （1,060人）	PTA教養部役員（保護者）が主体的に記事を製作し、悩みや子育ての情報を提供する新聞に発展できた。新聞づくりを公助から共助の形に発展させることができた。	ＰＴＡ教養部との共催
5	共英小ＰＴＡ移動教室（保護者・教員）	PTA教養部と公民館が連携し、保護者と教員が学ぶ移動教室を企画する。（家庭教育支援事業）	―	―	新型コロナウイルスの影響により開催中止	家庭教育支援事業
6	共英小ＰＴＡ家庭教育支援事業（保護者・教員）	PTA教養部と公民館が連携し、保護者と教員が学ぶ講座を企画する。（家庭教育支援事業）	―	―	新型コロナウイルスの影響により開催中止	ＰＴＡ教養部との共催
7	共英小親子ものづくり教室（児童・保護者）	竹で編む壁掛け・缶ケースフラワー・段ボール織のミニポーチ・ストローで作るヒンメリづくりを実施。 （家庭教育支援事業）	７月23日 （１回）	111人 （111人）	講座回数を増やして密を避けて実施できた。また、当日参加が難しい方に向けに、お家でもできるように、キット配布を行ったところ、多くの参加者を得ることができた。	ＰＴＡ教養部との共催

8	共英小 ＰＴＡ家庭教養支援事業新聞 （児童・保護者・教員）	【保護者発行】 共英小学校PTA教養部役員（保護者）が「共英smile通信」を発行し、保護者に学びの機会や子育て情報の提供、悩みの共有をした。（家庭教育支援事業）	12月 （1回）	発行対象者数322人 （322人）	PTA教養部役員（保護者）が主体的に記事を製作し、悩みや子育ての情報を提供する新聞に発展できた。新聞づくりを公助から共助の形に発展させることができた。	ＰＴＡ教養部との共催
9	厚崎中ＰＴＡ移動教室（保護者・教員）	藤城清治美術館の見学と、石けんづくり体験を行った。 （家庭教育支援事業）	6月17日 （1回）	14人 （14人）	地域の魅力を知ることができ、地域活性化を考えるきっかけとなった。	ＰＴＡ教養部との共催
10	厚崎中学校 ＰＴＡ家庭教養支援事業新聞 （生徒・保護者・教員）	【保護者発行】 厚崎中学校PTA教養部役員（保護者）が「厚崎smile通信」を発行し、保護者に学びの機会や子育て情報の提供、悩みの共有をした。（家庭教育支援事業）	12月・2月 （2回）	発行対象者数440人 （880人）	PTA教養部役員（保護者）が主体的に記事を製作し、悩みや子育ての情報を提供する新聞に発展できた。新聞づくりを公助から共助の形に発展させることができた。	ＰＴＡ教養部との共催
11	厚崎地区３校合同子育てWeb講演会 （地区内児童生徒・保護者・教員）	インターネットの動画配信を活用したオンライン講演会を実施。2人の講師にる2つのテーマの講話を配信。また、視聴者からのオンラインアンケートも実施した。 （家庭教育支援事業）	1月24日～３月12日まで配信	延べ視聴数171回	実行委員会により、オンラインでの開催ということになり、動画配信での学びの提供となった。アンケート用紙とWebアンケートの両方を実施し、回答率向上に努めた。学校の一斉メールやホームページを活用し、保護者へ動画視聴促進を行い、視聴者数の向上が図られた。	3校合同子育て講演会実行委員・ＰＴＡ教養部との共催

３　健康づくり・生涯スポーツの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	ソフトバレーボール大会（地区内住民）	スポーツを通して地域住民の体力づくりと交流を図るため、ソフトバレーボール大会を開催する。	―	―	チーム解散、活動休止中等のため参加チーム少なく休止	公民館運営協力委員
2	ソフトボール大会 （地区内住民）	スポーツを通して地域住民の体力づくりと交流を図るため、ソフトボール大会を開催する。	9月11日 （1回）	６チーム　（７７人）	3年ぶりに開催であったが、熱戦を繰り広げながら親睦を深めることが出来た。	公民館運営協力委員

3	はじめてのワークアウト（市民）	健康エクササイズを体験することにより、コロナ禍の運動不足になりがちな市民の健康増進を図る。	8月～9月（5回）	18人（84人）	参加者からは、内容・回数等は好評であり、次につながる事業となった。	市民大学連携講座

4　芸術文化活動の推進

No.	事業名（対象）	事業内容	期日（回数）	受講者数（延べ人数）	評価	備考
1	あつさき公民館まつり（市民）	利用団体の作品展示、活動発表。食堂や模擬店等での販売。	―	―	参加団体少なく中止	
2	あつさき公民館を楽しもう！（市民）	あつさき公民館まつりの代替事業として、利用団体や公民館事業紹介を館内に展示、ワークショップやクイズラリーを開催。	12月1日～12月15日（1回）	61人（クイズラリー参加者） 20人（11日イベント時参加者）	展示内容から答えを見つけられるクイズや、自由に体験できるワークショップなど、来館者に楽しんでもらえるような工夫が出来た。	公民館運営協力委員

5　地域教育力の向上

No.	事業名（対象）	事業内容	期日（回数）	受講者数（延べ人数）	評価	備考
1	地域学校協働本部会議	・地域協働本部会議開催。 ・学校ごとに３つの分科会開催。	本部会議 ６月、２月（2回） 分科会 10月、11月（各学校1回、計3回）	68人（178人）	地域学校協働本部会議を実施。各学校ごとの分科会を開催し、地域活動の情報共有が図れた。	厚崎中学校地域学校協働本部
2	地域学校協働本部事業 あつさき地区ふれあい交流会（埼玉小・共英小児童、厚崎中生徒・公民館運営協力委員、スポーツ推進委員等）	あつさき地区ふれあい交流会 地域内の小学生6年生と中学1年生が、ボッチャ体験を通し交流を図る。	9月21日（1回）	２８８人（２８８人）	地域住民等との交流は出来なかったが、小学６年生が中学生と交流できたことにより中学進学時への不安解消へ寄与できた。	厚崎中学校地域学校協働本部

3	埼玉小学校 地域学校協働本部事業 （児童・地域住民）	各種事業を通し、学校と地域との協働・交流を図るため、以下の事業を実施した。 ・稲作体験（田植え・稲刈り・お米の贈呈式） ・農園活動 ・掲示物作成 ・昔遊びの会 ・おもちゃパーティ	5月～2月 （実施5回）	522人 （603人）	地元農家、農協、PTA、ボランティアの協力により、児童が活動をすることができ、学校と地域との協働・交流が図られた。	厚崎中学校 地域学校協働本部
4	共英小学校 地域学校協働本部事業 （児童・地域住民）	各種事業を通し、学校と地域との協働・交流を図るため、以下の事業を実施した。 ・花いっぱい運動（実施） ・昔の遊びにチャレンジしよう（中止） ・感謝の会をひらこう（実施） ・どんど焼きのまゆ玉を作ろう（中止）	6月～12月 （実施2回、中止2回）	321人 （643人）	PTA、ボランティアの協力により、児童が活動をすることができ、学校と地域との協働・交流が図られた。	厚崎中学校 地域学校協働本部
5	厚崎中学校 地域学校協働本部事業 （生徒・地域住民）	各種事業を通し、学校と地域との協働・交流を図るため、以下の事業を実施した。 ・厚崎中学校感謝の花プロジェクト	12月9日 12月24日～１月９日 （2回）	122人 （244人）	事業所の協力により、生徒が活動をすることができ、学校と地域との協働・交流が図られた。	厚崎中学校 地域学校協働本部

6　生涯学習情報の提供・学習活動の支援

No.	事業名	事業内容	期日	評価
1	厚崎公民館運営協力委員会	副公民館長1名 運営協力員9名 ・ソフトバレーボール大会の運営 ・ソフトボール大会の運営 ・健康ハイキングの付添協力 ・子ども移動教室の付添協力 ・公民館まつりの運営		今年は職員の異動が多かったため、公民館運営協力委員が公民館事業を職員に引き継ぎながら進める場面が多かった。もちと赤飯の売上によって、まつり会計の独立採算を支えた。
1	あつさき公民館通信の発行	地区内住民に公民館事業や学校・地域の情報を提供するため、「あつさき公民館通信」を発行する。	通年 （6回）	コロナ禍で減少していた公民館事業の復活により、紙面に余裕がなくなり、厚崎地区の地域活動の情報を掲載することがができなかった。

2	厚崎公民館ホームページ	地区内住民に公民館事業や学校・地域の情報を提供する。	随時	あつさき公民館通信で掲載できなかった厚崎地区の地域活動の情報をホームページに掲載することができた。
3	厚崎公民館運営協力委員会	運営協力委員１８人（専任8人・自治公民館長10人） ・会議 ・ソフトボール大会 ・あつさき地区ふれあい交流会 ・公民館奉仕作業 ・あつさき公民館を楽しもう！	4月7日 8月17日 （2回） 9月11日 （1回） 9月21日 （1回） 10月23日 （1回） 12月1日～ 12月15日 （1回）	運営協力委員は、主に公民館の主要行事の運営に携わっていただき、必要な助言やアドバイスをいただくことになっているが、主要行事であるソフトバレーボール大会、あつさき公民館まつりが開催されず、集まる機会が減少した。 奉仕作業については例年利用団体の方々に協力をいただいているが、新型コロナウイルスの影響により人員を集めることが困難と判断し、運営協力委員の方々に協力いただき、公民館の環境整備が図られた。
4	厚崎地区子供会育成会連絡協議会	単位育成会18団体（育成会会長18人） ・総会、アンケートの実施 ・書面決議による役員会	4月1日 （実施1回、中止1回）	総会では、厚崎地区の育成会長が一堂に会し、情報交換をすることができた。 厚崎地区子供会育成会連絡協議会事業「おさがり会」については、新型コロナウイルスの影響により開催中止 役員会は書面開催とし、感染のリスクを避けることができた。
5	厚崎地区コミュニティ情報交換会	コミュニティの運営及び活動について情報共有・意見交換を行い、地域コミュニティとして	―	新型コロナウイルスの影響により開催中止
6	厚崎公民館利用者団体	登録利用団体数　62団体 生涯学習の活動の場を提供できた。 ・公民館奉仕作業 ・利用団体会議…午前・午後の部、夜の部の2回に分けて実施済 ・新型コロナウイルスに関する公民館利用についての情報提供…随時	12月14日 （実施1回、中止1回）	公民館の予約方法を変更してから2年目のため、利用団体会議及び利用調整はスムーズに進行できた。奉仕作業については例年利用団体の方々に協力をいただいているが、新型コロナウイルスの影響により人員を集めることが困難と判断し中止した。

令和4（2022）年度　稲村公民館事業報告

1　生涯各期にわたる学びの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	いなほ学級 （地区内高齢者66歳以上）	66歳以上の高齢者学級。健康や生きがい、仲間づくりを目的として、教養・健康講座、移動教室などを実施。	6月～１２月 （実施6回、中止1回）	20名 （99人）	コロナ禍で申込者数は若干減少したが、様々な講座内容で学びの場の提供ができた。また、参加者の交流が図れた。	
2	やしお学級 （地区内住民）	成人対象の学級。健康や生きがい、仲間づくりを目的として、教養・健康講座、移動教室などを実施。	6月～１月 （実施８回）	23名 （165人）	８回講座全て実施。移動教室も3年振りに実施できた。年間を通して学びや交流の場を提供し、受講者から「楽しく参加できた」との感想を多くいただいた。	
3	「ジャズの楽しみ方講座」 （市民）	20世紀に米国で生まれたジャズは難しいと言われる。ジャズの発祥の背景や黒人差別から解説し、ジャズと音楽に親しむきっかけを作る。前年度受講者をお断りし、新たな受講生を対象とする。	6月～９月 （実施７回）	29名 （153人）	週末の夜開催したため、40代の現役世代が受講するとともに、過半数を男性占める講座となった。また、市内のライブハウス経営者の協力のもと、館外で生演奏を聴く追加講座を開催することができた。	市民大学連携講座
4	【新規】 「声楽家と学ぶ～オペラの楽しみ方」講座 （市民）	地元を中心に活躍する若手声楽家に、オペラに関する講義を受け、多くの演奏に親しむと同時に、本人の生演奏を通して、オペラ鑑賞のポイントを理解する。	10月～11月 （実施6回）	25名 （128人）	週末の夜開催したため、現役世代や男性も受講した。また、プロ声楽家の解説付き演奏が毎回あり、好評を博した。	市民大学連携講座
5	子ども体験塾 （地区内児童）	塾生を募り学校とは異なる体力づくり、ものづくり、芋掘り等を体験しながら、コミュニケーション能力を伸ばす。	５月～１２月 （実施８回）	20名 （131人）	様々な体験を通し、塾生の興味の幅を広げ、楽しく学ぶことができた。また、縦割り班で活動することで、異学年とのふれあいも図れた。	稲村地区子供会育成会共催
6	宿題お助け隊【書道】 （地区内児童）	夏休み子ども向けイベントとして地域人材を活用して実施。夏休みの宿題への援助を通して、作品づくり、仲間づくりを図る。	8月５日	７名 ※3～6年対象	１・２年生は硬筆、３～６年は書道を実施。全員が真剣に取り組み、作品を仕上げることができた。	稲村地区子供会育成会共催
			8月９日	６名 ※1・2年対象		

7	蕎麦打ち教室 （地区内住民）	地元の蕎麦打ち名人の指導で、初心者対象蕎麦作りを実施	12月１５日	８名	年末の年越しそばが打てるよう、館内在住講師が本格的な蕎麦打ちを教えた。合わせて参加者の交流を促すことができた。	
8	味噌づくり教室 （地区内住民）	手作り味噌を作ることで、参加者同士の親睦を図り、食に対する興味の幅を広げる。	1月１７日	17名	毎年恒例の味噌づくり教室はリピーターの多い人気の講座。美味しい味噌の作り方を丁寧に教わり、手作り味噌の良さを再確認できた。	
9	新規】 「寄せ植え講座」 （東原ｺﾐｭﾆﾃｨ会員）	寄せ植え作品を作り、植物に親しむとともに、地域住民の融和を図る。	11月26日	20名	コロナ禍でコミュニティ活動が停滞しているため、公民館を利用して行った共催講座で、コストパフォーマンスもよく、会員の交流が図れた。屋外で実施。	東原コミュニティ共催
10	「ミニ門松づくり講座」 （東原ｺﾐｭﾆﾃｨ会員）	コロナ禍で事業が停滞しているコミュニティ組織と連携し、ミニ門松を制作し、季節感を感じながら、地域住民の融和を図る。	12月24日	21名	コロナ禍でコミュニティ活動が停滞しているため、公民館を利用して行った共催講座。昨年から引き続き３回目となったが、盛況で定員一杯になった。	東原コミュニティ共催
11	「ミニ門松づくり講座」 （いなむらｺﾐｭﾆﾃｨ推進協議会会員）	コロナ禍で事業が停滞しているコミュニティ組織と連携し、ミニ門松を制作し、季節感を感じながら、地域住民の融和を図る	―	―	参加申込者が２名のため中止。	稲村コミュニティ推進協議会共催

2　家庭教育の充実

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	稲村小親子ふれあい移動教室・ものづくり教室 （稲村小の親子）	移動教室を行い、親子のふれあいを深めるとともに、親同士の仲間づくりを行う。 （家庭教育支援事業）	８月17日	25名	(親子ふれあい移動教室) ３年振りに実施できた。福島空港とふれあい科学館を見学し、親子で学び合う良い機会となった。また、異学年との交流や保護者同士の親睦も図れた。	学校PTAとの共催事業
			７月26日	25名	(ものづくり教室) PTA文化部と一体となって運営し実施できた。また、親子で楽しみながら制作できた。	
2	東原小親子ふれあい移動教室・ものづくり教室（東原小の親子）		7月27日	16名	(親子ふれあい移動教室) ３年振りに実施できた。福島空港では、普段入ることのできないバックヤードを見学し、親子で学び合う良い機会となった。また、異学年との交流や保護者同士の親睦も深められた。	
			８月６日	７名	(ものづくり教室) 参加人数は少なかったが、和やかな雰囲気で実施できた。参加者からは、「身近にある材料で簡単にキャンドルが作れ、自宅でも作ってみたい」と感想をいただき、好評であった。	
3	黒磯北中ＰＴＡ文化部ものづくり体験（黒磯北中の親子）	ものづくりを通して、仲間づくりを行い、その後の子育て情報交換に役立てる。	10月8日	７名	参加人数は少なかったが、和やかな雰囲気で実施できた。参加者からは、「身近にある材料で簡単にキャンドルが作れ、自宅でも作ってみたい」と感想をいただき、好評であった。	

4	三校合同事業 （稲村小、東原小、黒磯北中の保護者）	児童生徒の保護者を対象に講演会を実施 「子どもの心身との成長と食事の役割」	9月16日	―	講師が直前に新型コロナウィルス感染したため中止とした。	

3　健康づくり・生涯スポーツの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	はつらつ講座 （地区内住民）	健康講座 家庭で簡単にできる健康体操を学び、健康寿命を延ばす。	５～６月 （３回実施）	12名 （30人）	３回講座（３B体操）で実施。受講者は意欲的に取り組み、楽しく学びながら健康増進を図った。	
			２～３月 （全３回）	18名 （52人）	ピラティス・ヨガ・美温活リンパストレッチと幅広い年齢層向けの内容にしたため、３０代から８０代と多世代の申込があった。申込初日で定員一杯になり、講師のご好意で定員を増やし実施した。	
2	ハイキング （地区内住民）	ハイキングの楽しさを通して、健康増進を図り、合わせて	6月16日 7月26日	20人 15人	季節を感じながら歩く楽しさや自然とのふれ	
3	【新規】 グラウンド・ゴルフ大会 （地区内住民）	地区内住民の健康増進と親睦を図ることを目的に実施	―	―	新型コロナウィルスの影響により開催中止 （公運審小委員会決定）	

4　芸術文化活動の推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	【新規】 「よしだよし子コンサート」 （公民館・文化会館・実行委員会）	公民館・文化会館・実行委員会が共催したため、無料で会館を使用し、フォークコンサートを開催した。	6月26日 （１回）	参観者 179名	昨年の市民大学連携講座「フォークソングを聴き直そう」講師が中心となり、実行委員会を組織し、公民館・文化会館が共催して市民に無料コンサートを提供した。	
2	第2回 陶芸指導者研修会 （公民館・利用団体）	陶芸棟を持つ公民館として、利用者から指導者を育成し、公民館事業に積極的に連携、活性化を図る	7月12日 （１回）	18名	公民館事業で活躍していただくため、茨城県笠間市の「春風萬里荘」「茨城県陶芸美術館」を見学し、今後の指導力のアップを図った。	

3	【新規】 オペラ鑑賞ツアー （公民館・利用団体・市民）	市在住で活躍する声楽家が、文化庁令和4年度大学における文化芸術推進事業に出演するため、民間バス借り上げでツアーを実施した	10月８日 （１回）	16名	公民館利用団体「ふれあいコーラス」指導者の昭和音大オペラ公演出演にあわせ、参加者を募り本物のオペラの鑑賞を行った交通費はかかったが安価でオペラ鑑賞ができたので、参加者からは、大好評だった。	
4	【新規】 稲村公民館作品展 （市民）	地区内住民の文化活動・公民館利用団体の活動の発表の場とする。	展示 11月4日～ 11月８日 （5日間）	観覧者 387名	新型コロナウィルスの影響により、公民館まつりを中止したが、作品展のみ開催し、大勢の観覧者で賑わった。	
5	第2回 稲村公民館川柳コンテスト （地区内住民）	今回は「物価高」に関する川柳を募集し、優秀作品を公民館だよりに掲載し、館内に展示した。	募集 12月～1月 表彰式・講演会 3月5日 展示 ３月5日～ ３月31日	応募 140名 作品数 159作品	公民館まつり代替事業。 利用者以外の様々な方の応募があった。次年度以降も実施予定	
6	【新規】 稲村公民館川柳コンテスト表彰式・講習会 （地区内住民）	第2回稲村公民館川柳コンテスト表彰式と同時に選者による講習会を開催	3月5日 （１回）	20名	選者の協力のもと、川柳の作句の講習会を開催して、次年度以降の定着を図った。	

5　地域教育力の向上

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	地域学校協働本部会議 (管内小中学校)	地域学校協働本部事業に関して、公民館が事務局となり情報交換会等を行い、学校と地域の連携を図る。 （地域学校協働本部事業）	６月９日 ３月3日 （２回）	24名 23名 （47人）	学校や推進員からの要望や相談への対応、事業実施においての講師紹介や調整等、新事業に対する支援ができた。	

6　生涯学習情報の提供・学習活動の支援

No.	事業名	事業内容	期日	評価
1	稲村公民館だより発行	公民館事業への参加者募集や活動内容、地域の話題等紙面を通して、公民館の理解・地域交流等の促進を図った。	通年 （全12回）	毎月の発行により、公民館が周知したい情報や地域住民が知りたい情報を発信することができた。
2	社会教育主事資格取得のための大学生の実習受け入れ	山梨大学の要請により、3年生1名を受け入れ、様座な学習事業の運営を体験させ、社会教育主事として必要な技術を習得させる。	8月14日～ 12月27日 (7日間 延べ47時間)	講座の資料作成、運営、移動教室の引率、文化財などの資源の活かし方、講座のアンケート集計と総括など、幅広い体験をさせ、社会教育主事として必要なスキルを学ばせることができた。

令和4(2022)年度　とようら公民館事業報告

1　生涯各期にわたる学びの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	とようら学級 （地区内高齢者）	シニア世代を対象に、健康で充実した生活を送れるよう物づくり、健康講座等を実施。	6月～1月 （全7回）	14人 （82人）	物づくりや健康体操等を通して、充実した活動を行うことができた。	
2	おやじ教室 （地区内の成人男性）	成人男性を対象に、地域社会への参加のきっかけづくりと地域と家庭内の自己有用感を高めるよう料理や物づくり等を実施。	6月～1月 （実施6回、中止1回）	14人 （48人）	コロナの影響で各回の参加者が少なかったが、料理や物づくりなど意欲的に取り組むことができた。	
3	子ども公民館 （地区内児童）	豊浦小学校の児童を対象に、創作、文化活動等を行い、学年を越えた交流を図る。	6月～2月 （実施7回、中止1回）	15人 （81人）	多岐にわたる体験活動を実施し、ほとんどの活動が好評であった。	
4	ものづくり教室 （地区内住民）	ざるや受講者が自ら作成したクラフトバッグに和紙を貼り付け、一貫張りを体験する。	6月～7月 （5回）	11人 （54人）	創作活動を通して受講者同士の交流も図られ、見応えのある作品が完成した。	
5	子どもお囃子教室 （地区内児童）	コミュニティ事業「ふれあい夏まつり」や「とようら公民館まつり」でのお囃子演奏者の育成を目的に、お囃子の練習を実施。	7月～8月 （実施4回、中止6回）	14人 （49人）	コロナの影響で各まつりの中止や規模縮小により発表の場がなくなってしまったが、お囃子を通して伝統文化に触れる良い機会となった。	
6	染物教室 （地区内住民）	型染めでバッグやTシャツ、タペストリー等の作品づくりにチャレンジする。	7月～10月 （7回）	10人 （69人）	日本の多様な文化に親しむきっかけづくりとなり、充実した創作活動を行うことができた。	
7	スマートフォン講座 （地区内住民）	スマートフォンでのインターネット検索の仕方やアプリの使い方を学びながら、スマートフォンによるオンライン手続き方法も学ぶ。	2月 （4回）	11人 （31人）	今後、スマートフォンを活用していくためのスキルアップにつながる良いきっかけとなった。	
8	消費者講座 （市民）	特殊詐欺や悪質商法等の消費者被害を防ぐため、その手口と対処方法を学ぶ。併せて、身近なネット関連のトラブルを掘り下げて具体的な手口や対処法を学ぶ。	2月8日	18人 （17人）	実際にあった事例を挙げての説明により、身近な問題であるということの再認識と被害にあわないための知識を得る良い内容であった。	市民大学連携講座

2　家庭教育の充実

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	豊浦小家庭教育支援 （豊浦小児童及び保護者）	豊浦小ＰＴＡとの共催で親子ものづくりや親子ヨガに挑戦する。 「親子にこにこ通信」を発行し、子育てに関する情報を提供する。 （家庭教育支援事業）	8月21日 10月16日	27人 23人	親同士の交流に加え、親子の交流も図られた。また、「親子にこにこ通信」を発行行することで子育てに関する情報の提供ができた。	学校ＰＴＡとの共催
2	日新中家庭教育支援 （日新中保護者）	日新中ＰＴＡとの共催でものづくり（レジン教室、おかずパン教室）に挑戦する。 （家庭教育支援事業）	8月4日 12月8日	12人 8人	コロナの影響で小人数ではあったが親同士の交流が図られた。「おかずパン教室」では家庭でも簡単にできる内容であったため大変好評だった。	学校ＰＴＡとの共催

3　健康づくり・生涯スポーツの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	健康づくり教室 （地区内住民）	美温活リンパストレッチを体験しながら心と体の健康を目指し、交流を図る。	5月 （3回）	18人 （49人）	ストレッチをしながら心身ともにリフレッシュでき、受講生同士の交流も図られ、大変好評であった。	

4　芸術文化活動の推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	ふれあい夏まつり （地区内住民）	とようらコミュニティ共催で、サークルや園児の踊り発表、お囃子演奏や地域内の団体等による模擬店販売や打ち上げ花火などを行い、地域住民間の交流を図る。	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	とようらコミュニティ推進協議会との共催
2	とようら公民館まつり （市民）	公民館利用団体や地域住民の作品展示、公民館講座の紹介等を実施し、地域との交流を図る。	11月19日～ 11月21日	196人	コロナ感染予防の観点から、地域団体等の模擬店販売は行わず、「とようら公民館作品展」として利用団体や地域住民の協力のもと、実施することができ、地域との交流も図られた。	

3	どんど焼き （地区内住民）	小正月の行事である「どんど焼き」を実施することにより、地域住民の無病息災を祈り、地域の連帯感・一体感の醸成を図るとともに、地域の子供達への伝統行事の伝承を図る。	１月14日	29人	コロナ感染予防の観点から、一般の参加者なしで、コミュニティ役員のみでの実施となったが、準備から後片付けまでの活動を通して地域の連帯感の醸成や伝統行事の伝承が図られた。	とようらコミュニティ推進協議会との共催

5　地域教育力の向上

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	Work Work 体験 in 日新 （地区内児童生徒・市民）	地域全体で児童生徒を育てる意識を啓発するため、地域住民が様々な体験活動の講師として参加し児童生徒と交流する。また、活動を通して日新中学校区小中一貫教育目標である「ふるさとに誇りをもち人間性豊かにたくましく生き抜く児童生徒の育成」の具現化を図る。（地域学校協働本部事業）	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	
2	豊浦小感謝の会 （豊浦小児童及び地区内住民）	学校行事や登下校時の見守り等、地域のボランティアに感謝の意を伝えることを目的に「感謝の会」を手紙と花の贈呈に変更し実施。（地域学校協働本部事業）	2月15日	18人	コロナ対策として、密を避けるため集会は実施出来なかったが、児童が心を込めた感謝の手紙や、花を渡すことにより、感謝の気持ちを表すことができた。	
3	豊浦小地域交流活動 （豊浦小児童及び地区内高齢者）	児童が、地域の高齢者等の方から料理や遊びを教わることで、地域の方との交流を深める。（地域学校協働本部事業）	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	
4	とようらギャラリー （豊浦小児童及び地区内住民）	地域住民の作品を学校内に展示し、児童と地域住民との交流を深める。（地域学校協働本部事業）	通年	2団体	児童と地域住民との交流が深まった。また、地域住民が作品を展示する場所があることで、作品づくりの励みとなっている。	
5	日新地区地域学校協働本部会議 （地区内関係団体）	日新中学校区の地域学校協働活動の推進を図るための会議を開催した。（地域学校協働本部事業）	5月25日 2月16日	23人 23人	情報交換、意見交換を行い、学校と地域の連携・協力による具体的な活動につながった。	

6　生涯学習情報の提供・学習活動の支援

No.	事業名	事業内容	期日	評価
1	とようら公民館だより発行	公民館行事のお知らせ、報告等を行った。	通年	公民館事業の募集や報告等地域住民に情報を提供できた。
2	活動支援	とようら地区自治公民館	通年	自治公民館への情報提供や事業活動の支援を行った。
3		とようらコミュニティ推進協議会	通年	豊浦小清掃、どんど焼き等の事業活動や総会、理事会等会議開催に向けた支援を行った。
4		豊浦地区子供会育成会連絡協議会	通年	豊浦小卒業生への記念品贈呈、総会、役員会の定期開催の支援を行った。

令和4(2022)年度　鍋掛公民館事業報告

1　生涯各期にわたる学びの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	わくわくチャレンジ塾 （鍋掛小児童）	鍋掛・豊浦小児童を対象に体験活動、ものづくり等を行い児童の自主性と世代間交流を図った。	6月～1月 （8回）	10人 （38人）	人数が集まらず、豊浦小にも募集をかけた。毎回違った体験ができ、児童保護者共に好評だった。次年度も参加したいとの声があった。	
2	ダンス♪あそび塾 （鍋掛小児童）	鍋掛・豊浦小児童を対象にヒップホップダンスを学び、体力づくり、仲間づくりを図った。	6月～3月 （11回）	14人 （45人）	人数が集まらず、豊浦小にも募集をかけた。千人展での発表、また、閉講式では保護者へ発表し、子供達の成長を感じる事が出来、好評だった。講師の先生も上手下手ではなく「楽しむ」を優先してくれ、子供達は心の底から楽しめていた。	
3	なべかけふるさと講座 （鍋掛小児童及び保護者）	鍋掛小児童を対象に鍋掛地区の伝統行事の継承を図る目的で事業を実施した。 木工工作 福笑い・すごろく作り 書初め（7月、1月）	7月～１月 （4回）	（27人）	12月の福笑い・すごろく作りは、新型コロナウイルスの影響により参加者へ材料を配布することとしたが、その他は実施。 今後も継続し、伝統行事の継承を図りたい。	
4	ものづくり講座 「畳で敷き物づくり」 （地区内住民）	ものづくりを通して、生きがいづくり、仲間づくりを図ることを目的に、畳で敷き物づくり、押し花カレンダー作りを実施した。	9月9日	12人	参加者は、両講座とも楽しみながら作成することが出来、講座内容・作品の出来上がりに満足していた。	
5	ものづくり講座 「押し花カレンダー」 （地区内住民）		9月22日	11人		
6	寄せ植え講座 （地区内住民）		12月10日	8人	正月飾りが簡単にでき好評だった。	
7	料理教室 （地区内住民）	壮年を対象に料理を通して、生きがいづくり、仲間づくりを目指した。	1月～３月 （４回）	8人 （13人）	手作りを重視した内容で、基本を学べ好評だった。コロナ感染を考慮し、お持ち帰りスタイルだった為、温かい内に食べれるとなお良かった。	

8	ことぶき学級 （地区内高齢者）	高齢者が健康で生きがいのある生活を送るための知識を深めるとともに、学級生同士の交流を図った。	6月～11月 （8回）	22人 （86人）	参加者には好評だったが、80歳代が多く、運転ができなくなると参加が難しいと困っていた。	
9	奥州道中歴史講座　～佐久山宿・大田原宿を歩く～ （市民）	市民に鍋掛地区を通る奥州道中の歴史や史跡を紹介し、郷土愛と地域の活性化を目指した。	11月～3月 （4回）	15人 （66人）	募集開始初日で、定員となる程人気の講座。内容も充実しており好評だった。	市民大学連携講座
10	ICT講座	スマートフォン講座を実施した。	9月～10月 （3回）	17人 （41人）	スマートフォン操作について、詳しく学ぶことができ、参加者に好評だった。	

2　家庭教育の充実

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	親子ものづくり講座 （鍋掛小児童の保護者）	アドベントカレンダーづくり(家庭教育支援事業)	12月４日	13人	親子で工夫し、協力しあいながら、楽しく作成する事が出来た。	
2	家庭教育通信発行 （鍋掛小児童の保護者）	鍋掛小児童の保護者向けに、親子で楽しめるお菓子作りや、子育てに関する情報を提供。(家庭教育支援事業)	7回	－	季節の話題、子育て情報、親子でできる料理等の情報を掲載した。	

3　健康づくり・生涯スポーツの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	自然探勝会ハイキング （地区内住民）	植物観察を兼ねたハイキングで体力の向上と親睦を図った。	6月11日	15人	益子の森ハイキングの他、益子陶芸美術館への見学もあり、好評であった。	
2	健康教室「ルーシーダットン」 （地区内住民）	壮年を対象に体幹トレーニングを行い健康維持と仲間づくりを図った。	11月～12月 （全4回）	6人 （21人）	誰もが簡単に取り組める様々なポーズを行い、大変好評であった。	
3	野球大会 （地区内住民）	自治公民館対抗スポーツ大会の開催により、健康増進を図るとともに、地域住民の親睦を深め、明るい地域づくりを目指した。	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	
4	バレーボール審判講習会 （地区内住民）		－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	
5	婦人バレーボール大会 （地区内住民）		－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	
6	卓球大会 （地区内住民）		－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	

4　芸術文化活動の推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	なべかけ千人展 （市民）	公民館利用団体、学級、講座、保育園児をはじめとする地域住民の趣味の作品、文化活動を発表した。	11月8～13日 （6日間）	(291名)	利用団体の作品展示、ステージ発表を行い、発表の場が出来たと好評だった。	
2	なべかけまつり （市民）	地域住民の交流と鍋掛地域産業の発展と活性化を図った。	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	鍋掛地区コミュニティ推進協議会との共催
3	子ども体験教室 （鍋掛小児童及び保護者）	親子の触れ合い夏休みの体験を目的として企画した。	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	鍋掛地区子供会育成会連絡協議会との共催
4	花いっぱい運動 （地区内住民）	花いっぱい運動とコンクールを企画した。	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	鍋掛地区子供会育成会連絡協議会との共催
5	親子映画会 （鍋掛小児童及び保護者）	親子のふれあいと豊かな心を育むよう映画の親子鑑賞会を企画した。	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	鍋掛地区子供会育成会連絡協議会との共催

5　地域教育力の向上

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	日新地区地域学校協働本部会議 （地区内関係団体）	日新中学校区の地域学校協働活動の推進を図るための会議を開催した。 （地域学校協働本部事業）	5月24日、 2月16日 （2回）	24人 23人 (47)人	情報交換、意見交換を行い、学校と地域の連携・協力による具体的な活動につながった。	地域学校協働本部事業
2	WorkWork体験 in 日新 （地区内小中学生・市民）	地域全体で児童生徒を育てる意識を啓発するため、地域住民が様々な体験活動の講師として参加し児童生徒と交流する。また、活動を通して日新中学校区小中一貫教育目標である「ふるさとに誇りをもち人間性豊かにたくましく生き抜く児童生徒の育成」の具現化を図った。 （地域学校協働本部事業）	9月10日	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止

3	田植え体験 （5年）	稲を育てることで食物を大切にする心を育てる。	5月10日	児童35人 PTA20人 講師1人	自分たちの手で苗を植えることで、食物を大切にしようとする心を育てることができた。また、地域の方や保護者と共同で作業を行うことを通して、感謝の気持ちを育てることができた。	地域学校協働本部事業
4	美化活動 （全学年）	苗植えをボランティアと行いながらふれあいと学校の美化につなげる。	6月16日、 11月10日 （2回）	児童178人	花壇への花苗の植え付け(密集・密接を避けるために、作業時刻等はクラス毎・班毎に実施)	地域学校協働本部事業
5	親子ものづくり （3年）	親子で絵手紙作り	10月26日	児童35人 PTA35人 講師1人	親子のコミュニケーションを深めることができた。	地域学校協働本部事業
6	稲刈り （5年）	稲を育てることで食物を大切にする心を育てる。	10月6日	児童35人 PTA30人 講師1人	自分たちで稲を刈ることができ、食物を大切にしようとする心を育てることができた。	地域学校協働本部事業
7	家庭科ミシン作業支援 （5年）	家庭科　ミシン作業支援	5年生 11月7日 11月11日 （2回）	5年生35人 ×2回 講師4人 ×2回	裁縫に対する興味・関心の向上につながった。	地域学校協働本部事業
8	親子ものづくり （1年）	親子でリース作り	10月28日	児童21人 PTA21人	親子のコミュニケーションを深めることができた。	地域学校協働本部事業
9	感謝の集い （全学年）	日頃からお世話になっている学校のボランティアに感謝をする会	11/21日 ～25日	児童178人 PTA１０人 対象10人	日ごろお世話になっている方々に全校児童が手紙を書き、感謝の手紙と鉢植えを自宅に届けた。	地域学校協働本部事業
10	親子学習会 （2年）	人権教室	10月28日	児童35人 PTA35人 指導者3人	親子のコミュニケーションを深めることができた。	地域学校協働本部事業
11	親子学習会 （6年）	ネット依存症について	6月22日	児童32人 PTA30人	親子で問題点や課題について話し合い、情報モラルについて家庭でも話題にあげ、正しい情報機器の活用に気づいた。	地域学校協働本部事業
12	キャリア教育講話	キャリア教育講話	3月2日	児童34人 PTA3人 一般・その他3人	地域の人の講話を聞き、鍋掛の美しい自然を守り、大切にしようとする心を育てた。	地域学校協働本部事業

13	和太鼓指導	和太鼓指導	2月6日	児童10人 PTA2人 一般・その他1人	和太鼓を演奏する技術が身につき、伝統文化への理解が深まった。また、礼儀作法、協調性、向上心や表現力等が身についた。	地域学校協働本部事業
14	茶道教室	茶道教室	2月6日	児童8人 PTA1人 一般・その他1人	茶道の作法に慣れ、身に付け、人と人のつながりの大切さを学び、日本の伝統文化を大切にしつつ、その心を受け継ごうとする心を育てる。	地域学校協働本部事業
15	認知症サポート講座（4学年）	認知症サポート講座	中止	–	コロナにより中止	地域学校協働本部事業
16	餅つき	餅つき	中止	–	コロナにより中止	地域学校協働本部事業
17	ピアノ伴奏	放課後の音楽部活動時の伴奏の支援	中止	–	コロナにより大会に参加しないため中止	地域学校協働本部事業

6　生涯学習情報の提供・学習活動の支援

No.	事業名	事業内容	期日	評価
1	広報紙の発行	事業の募集・結果報告	10回発行	地区住民に情報を提供できた。
2	公民館ホームページの公開	事業の募集・結果報告	随時	市民に公民館活動をPRできた。
3	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る！来る！）	インターネット利用者	随時	コロナ禍での公民館地域・事業等の紹介をインターネット（YouTube）で配信を計画したが、事業が再開し配信できなかった。
4	活動支援	鍋掛地区コミュニティ推進協議会	通年	事業実施の情報提供や活動に対する事務の支援、協力を行った。
5		鍋掛地区自治公民館		
6		鍋掛地区自治会長会		
7		鍋掛地区子供会育成会連絡協議会		
8		鍋掛地区老人会		

令和４(2022)年度　東那須野公民館事業報告

1　生涯各期にわたる学びの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	おもと大学 （65歳以上の地区内住民）	地区内の65歳以上の高齢者を対象に、教養講話、移動教室、体力づくり、音楽会、ものづくり等を実施した。	5月～1月 （実施7回、中止1回）	45人 （240人）	感染対策の緩和に伴い、一堂に会しての運営に変更し、内容も少しずつ参加型にするなどして実施した。高齢者の生きがいづくりや交流の促進を図るとともに、閉じこもりによる心身の衰えの予防に貢献することができた。	東那須野地区シルバークラブ連合会との共催
2	東那須野わんぱく少年団 （地区内児童）	小学校低学年と保護者を対象に、もの作り、科学実験、野外昆虫観察、図書館探検等を実施した。	6月～12月 （8回）	36人 （201人） ※児童21人、保護者15人 （児童124人、保護者77人）	小学生低学年が、もの作りや自然、科学、読書等に関心を持つきっかけになるようなプログラムを実施し、大変好評だった。低学年が対象のため、全8回中6回を保護者同伴にしたところ、家族のふれあいを深める効果もあった。	
3	【新規】 プログラミング教室 （地区内児童）	小学校高学年を対象に、プログラミングの基礎を学習した。 ※「エジソンドリーム教室（科学工作）」を講師の都合により中止したため、代替として実施。	9月～12月 （3回）	10人 （18人）	プログラミングソフト「スクラッチ」を使用して、様々なゲーム作りを行った。毎回、講話の後に実習に移り、受講者それぞれが独自の発想でゲームを作成して、プログラミングの奥深さを知ってもらうことができた。	
4	第18期東那須野おはやしクラブ （地区内児童）	地区内の小学生を対象に、おはやしを練習する教室を実施した。	6月～11月 （25回）	11人 （171人）	11人中7人が低学年のため、年間を通して演奏の基礎から学んだ。11月の公民館まつりでは、練習成果を披露することができ、伝統文化の継承が図ることができた。	

5	第8回夏休みこども書道教室 （地区内児童）	地区内の小学生を対象に、夏休みと冬休みそれぞれ1回ずつ書道教室を実施した。	8月5日	35人	長期休業中の課題サポートや礼儀作法の習得を図ることができた。 人気の教室のため、午前と午後の２部制で実施した。	
6	第8回冬休みこども書道教室 （地区内児童）		12月24日	24人		
7	第10期郷土史講座 （市民）	那須野が原の華族農場のの別荘について学び、建設当時の建造者たちの思いを探る。	9月～12月 （4回）	16人 (54人)	３年ぶりに移動教室を実施。歴史をひもときながら現在のまちを考えることで、郷土に対する愛着を深めることができた。	
8	ブリヂストン栃木工場見学会 （市民）	地区内に立地するブリヂストン栃木工場の見学会を実施する。	―	―	新型コロナウイルスの影響により開催中止（令和2年度から中止）。	市民大学連携講座
9	スマートフォン活用講座 ～スマホを使いこなそう～ （地区内住民）	スマートフォン初心者から少しステップアップした初級～中級向け講座を実施した。	1月～2月 （4回）	15人 （54人）	LINEやカメラ機能・QRコードの活用などの便利機能を使いこなすことを目的とした講座を実施した。各自が、機器操作をしながら学習することによって、疑問点の解決などを含めた利便性の向上を図ることができた。	
10	【新規】 はじめての自彊術体験教室 （地区内住民）	日本古来の健康体操である自彊術を基礎から学習する。	2月～3月 （3回）	8人 （ 19人）	高齢者が自宅で手軽にできる健康体操の体験教室。続けたいという受講者の声もあり、自主グループが結成した。	
11	【新規】 はじめての写経体験教室 （市民）	初心者向けの写経体験教室。写経を行うことにより、筆の上達、集中力の向上、脳の活性化、ストレス解消等の効果が期待できると同時に、写経の意味や歴史についての講話も実施した。	9月～1月 （5回）	23人 （97人）	定員15名で募集したところ遥かに超える申込数があり、写経への関心の高さを伺えた。受講者の満足度も大変高く、自主グループとして継続活動することが決定した。	市民大学連携講座

2　家庭教育の充実

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	だっこ！（親子ふれあい講座） （地区内未就学児と保護者）	未就学児の親子を対象に、体操、絵本の読み聞かせ、親子マッサージ、手形アート作成や保護者向けに子育て講話、ハンドセラピー体験などの講座を実施した。 （家庭教育支援事業）	6月～12月 （実施7回）	12組・14人 （58組・124人）	コロナ感染対策の緩和に伴い、託児を含めた事業内容に変更した。親子活動のほか、保護者の学びやいやし講座を実施したところ、昨年度以上に仲間づくりや子育ての悩み解消の支援をすることができた。	
2	大原間小学校家庭教育支援事業 （大原間小）	大原間小学校ＰＴＡと公民館が連携し、家庭教育に関する学習、親子交流事業を実施した。 （家庭教育支援事業）	6月～1月 （7回）	（1,269人）	昨年度はコロナのため6学年のみ実施。今年度は全学年の親子活動のほか、PTA教養部との共催の視察研修も実施した。保護者が共に活動する機会を提供することで、家庭教育を支援することができた。	学校ＰＴＡとの共催
3	波立小学校家庭教育支援事業 （波立小）	波立小学校ＰＴＡと公民館が連携し、家庭教育に関する学習、親子交流事業を実施した。 （家庭教育支援事業）	7月～12月 （7回）	（173人）	昨年度に引き続き全学年の親子活動と保護者対象のものづくりを実施。保護者が共に活動する機会を提供することで、家庭教育を支援することができた。	学校ＰＴＡとの共催
4	東那須野中学校家庭教育支援事業 （東那須野中）	東那須野中学校ＰＴＡと公民館が連携し、家庭教育に関する学習を実施する。 （家庭教育支援事業）	6月～12月 （3回）	（341人）	昨年度に引き続き、一部内容を縮小して実施。保護者がともに活動する機会を提供することで、家庭教育を支援することができた。	学校ＰＴＡとの共催
5	家庭教育通信の発行 （地区小中学校）	三校の家庭教育事業の報告と新年度に向けた情報提供を兼ねて、３月に発行（配布数1,020部）。 （家庭教育支援事業）	3月 （1回）	―	三校それぞれの家庭教育を紹介することで相互の情報交換を通じてよりよい家庭教育支援へのきっかけとなった。	

3　健康づくり・生涯スポーツの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	第40回東那須野地区自治公民館対抗男子ソフトボール大会 （地区内18歳以上の男性）	男性向けの体育事業として、自治公民館対抗のソフトボール大会を実施する。	―	―	新型コロナウイルスの影響により開催中止（令和2年度から中止）。	東那須野地区自治公民館連絡協議会との共催
2	第8回東那須野地区自治公民館対抗女子さいかつぼーる大会 （地区内18歳以上の女性）	女性向けの体育事業として、自治公民館対抗のさいかつぼーる大会を実施する。	―	―	新型コロナウイルスの影響により開催中止（令和2年度から中止）。	東那須野地区自治公民館連絡協議会との共催
3	ハイキング （地区内住民）	福島県只見町へ市有バスで向かい、午前中、癒しの森をハイキングし、午後はブナと川のミュージアムを見学して、只見の自然や生活について学習した。	10月21日	18人	ガイドの案内付きで歩くことにより、住民の体力づくり、仲間づくりを図ると同時に、世界的にも貴重なブナ林について知識を深めることができた。また、午後はミュージアムを見学して、只見の自然や人々の営みについて復習することができた。	
4	第15回東那須野地区シルバースポーツ大会 （地区内高齢者）	地区内の高齢者の交流と日頃の体力づくりの成果の発表として、5種目のスポーツ大会を実施する。	―	―	新型コロナウイルスの影響により開催中止（昨年度も中止）。	東那須野地区シルバークラブ連合会との共催

4　芸術文化活動の推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	第9回みね山花まつり （市民）	東那須野公園（みね山）において、おはやしの演奏やピザの配布等のイベントを実施する。	―	―	新型コロナウイルスの影響により開催中止（令和2年度から中止）。公園内に横看板とのぼり旗のみ設営。	東那須野地区ふれあい推進協議会との共催

2	第13回東那須野文化祭（TEISHABAフェスティバルVol.8）（市民）	那須塩原駅西口駅前広場において、公民館で活動している団体の発表、子供向けの遊び広場等を実施する。	―	―	新型コロナウイルスの影響により開催中止（令和2年度から中止）。	東那須野文化祭実行委員会との共催
3	花いっぱい運動（子ども会会員）	地域美化運動の一環として、地域内の花壇やプランターに花苗を植栽した。	6月18日（参加子ども会に花苗配付。以降、各地区管理）	84人 (参加者数) ※3地区参加	地域美化を充実させると共に、児童の情操育成を図ることができた。例年、参加地区が減少しているため、令和5年度は実施方法の変更を検討している。	東那須野地区子ども会連合会との共催
4	東那須野地区ふれあい盆踊り大会（市民）	那須塩原駅東口市営駐車場において、盆踊り大会を実施する。	―	―	新型コロナウイルスの影響により開催中止（令和2年度から中止）。	東那須野地区ふれあい推進協議会との共催
5	児童作品展（子ども会会員）	夏休み中に、地区子ども会に所属している小学生の絵画、工作、書道を展示した。（出展数73点）	8月20日～8月25日	67人 （来場者数）	夏休み期間中の児童の健全育成を図ることができた。3年ぶりの開催のためか、出品数が伸び悩んだが、作品全体のレベルは非常に高く、来場者からも好評だった。	東那須野地区子ども会連合会との共催
6	第25回巻狩まつり大将鍋出陣式（市民）	那須塩原駅西口駅前広場において、那須野巻狩まつりの一環としてイベントを実施する。	―	―	とちぎ国体開催のため中止（令和2～3年度はコロナのため中止）。	東那須野地区ふれあい推進協議会との共催
7	東那須野公園水仙植栽（地区内住民）	東那須野公園（みね山）において、水仙植栽事業を実施した。	11月6日	51人 （参加者数）	コロナ感染対策として規模を縮小して実施。地域の中学生、ブリヂストンの親子も参加し、地域活性化の取組を継続することができた。	東那須野地区ふれあい推進協議会との共催
8	第27回東那須野公民館まつり（市民）	公民館の主催講座、利用団体の趣味の作品の展示、学習成果の発表の場としてイベントを実施した。	11月20日	600人 （来場者数）	新型コロナウイルス感染対策として、開催日を1日間に短縮、飲食物の提供自粛等を行った。3年ぶりの開催となったため、家族連れの来場者が目立ち、大変盛況だった。	東那須野公民館まつり実行委員会
9	東那須野地区花市（市民）	那須塩原駅東口市営駐車場において、地域に継承される新年を祝う祭りを実施する。	―	―	新型コロナウイルスの影響により開催中止（令和2年度から中止）。	東那須野地区ふれあい推進協議会との共催

5　地域教育力の向上

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	大原間スポーツ少年団ボランティア活動 （大原間小）	大原間スポーツ少年団において東那須野公園で水仙の植栽活動を実施する。 （地域学校協働本部事業）	10月15日	171人 （参加者数）	地域の協力と理解のもと、児童の郷土愛の醸成につながった。	
2	【新規】 大原間小学校総合的な時間「きずなタイム」大原間歴史調査隊 （大原間小）	地域に古くから継承されている「三本木の獅子舞」について、地域の方たちから様々なことを学ぶ機会を得る。 （地域学校協働本部事業） ※計画時の名称は「大原間小学校クラブ活動」。	７月７日	95人	歴史ある郷土芸能について話を聞き、実際に獅子舞を見たり、太鼓をたたいたりして、地域の歴史や伝統に興味を持つことができた。	
3	【新規】 大原間小学校スノーシューハイキング （大原間小）	6年生を対象としたスノーシューハイキングを通して、環境保全の大切さと児童同士の親睦を図る。	1月13日	107人(児童101人、教員６名）	活動を通して、環境の大切さや地域のすばらしさを体感し、児童同士の親睦を図ることができた。	
4	大原間文化祭 （大原間小）	地域の指導者等により、各種体験活動を実施することで、地域との交流や子供たちの表現力の向上を図る。 （地域学校協働本部事業）	11月5日	712人（児童627人、教員35人、地域50人）	普段触れることのできない各種体験をすることで、子供たちの視野が広がり、地域とのつながりも深めることができた。	
5	波立小学校花苗植え活動 （波立小）	児童とＰＴＡ環境委員会が協力して、環境美化活動（花苗植え）を実施した。 （地域学校協働本部事業）	6月13日 11月10日	99人 101人	花苗を植えることで自然に対する愛情を育むとともに、地域との連携を図ることができた。	
6	【新規】 波立小学校スノーシュー活動 （波立小）	全校児童（低・高学年別）を対象としたスノーシュー活動を通して、環境保全の大切さと児童同士の親睦を図る。	1月18日 1月25日	37人 62人	活動を通して、環境の大切さや地域のすばらしさを体感し、児童同士の親睦を図ることができた。	
6	【新規】 波立小学校茶道教室 （波立小）	地区内の人材活用を生かして、茶道の作法を学習するとともに、日本の伝統文化に触れる機会を得る。（地域学校協働本部事業）	―	―	都合により中止。	
7	【新規】 小中学校交流事業 （管内小中学校）	東那須野中学校の生徒が波立小と大原間小に行き、小学生と中学生が交流する。（地域学校協働本部事業）	―	―	新型コロナウイルスの影響により開催中止。	

8	東那須野中学校みんなで作る花壇づくり （東那須野中）	学校敷地内の花壇整備を実施した。（地域学校協働本部事業）	6月20日 11月28日	28人（生徒27人、教員1人） 28人（生徒27人、教員1人）	コロナ対策のため、環境委員会活動として生徒のみで実施し、環境美化に対する意識を高めることができた。	
9	東那須野公園水仙植栽 （東那須野中）	ふれあい推進協議会主催の水仙植栽事業にボランティアとして参加（コロナにより、縮小しての開催）。 （地域学校協働本部事業）	11月6日	17人 （生徒14人、教員3人）	地域の人たちとの交流を図りながら植栽することにより、地域活性化に貢献することができた。	
10	【新規】 東那須野中学校デジタル盆踊り事業 （東那須野中）	コミュニティの盆踊り中止を受け、生徒会が中心となり、盆踊りの動画撮影を行い、地域の福祉施設にウチワやポスターとともに寄贈。 （地域学校協働本部事業）	7月20日	55人（生徒30人、教員10人、地域15人）	地域からのぼり、提灯及び法被の貸与や、踊りの指導を受けることで、地域とのつながりをさらに深めることができ、達成感を得ることができた。また、盆踊りの楽しさを施設の入所者等に楽しんでもらうことができた。	
11	地域学校協働本部会議 （管内小中学校）	地域学校協働本部事業の推進に関し、関係団体で構成した会議を開催した。	5月17日 2月21日	25人 20人	会議では、コロナ下での事業のあり方、地域と学校の情報共有など活発な意見交換を行うことができた。	

6　生涯学習情報の提供・学習活動の支援

No.	事業名	事業内容	期日	評価
1	東公だより発行	事業の募集・結果報告及び地域の情報等の発信を行った。	11回発行	公民館やコミュニティ主催事業の募集や実施結果報告等の他、地域の情報やコロナウイルス感染防止の啓発等について、積極的に発信することができた。
2	東那須野公民館運営協力委員会	公民館運営協力委員会の支援・連携・協力を行った。	通年	コロナのため3年続けてイベントが中止になるなどして、協力委員の活動の機会は今年度も少なかったが、3年ぶりの公民館まつりでは、準備、当日の運用、片付け等で力を発揮していただいた。また、おもと大学やハイキングでは、参加者の随行等で協力を得ることができた。

3	東那須野地区子ども会連合会	子ども会連合会の運営及び事業の支援・連携・協力を行った。	通年	3年ぶりに、夏休み児童作品展や公民館まつりの射的の模擬店等を実施することができ、各事業での連絡調整を図ることができた。
4	東那須野地区婦人会	婦人会事業の支援・連携・協力を行った。	通年	多くの事業が中止となったが、5月19日の御用邸勤労奉仕実施、3月の視察研修の際には、協力支援を行うことができた。
5	東那須野地区自治公民館連絡協議会	地区に設置されている自治公民館連絡協議会の、運営及び事業の支援・連携・協力を行った。	通年	6月のソフトボール大会、7月のさいかつぼーる大会が3年連続で中止になったが、10月に研修会を開催した。また、公民館まつりでは駐車場係の協力を得ることができた。
6	東那須野地区ふれあい推進協議会	コミュニティの運営及び事業の支援・連携・協力を行った。	通年	多くの事業が中止となったが、事業実施に向けての年間を通じての各種会議の運営や、水仙の植栽事業など、支援を円滑に行うことができた。
7	東那須野公民館利用団体連絡協議会	公民館の適正利用に関する協議・調整、清掃活動を実施した。	通年	公民館利用団体の連絡調整を行い、館の適正な利用を図ることができた。
8	東那須野地区遺族会	遺族会の運営及び事業の支援・連携・協力を行った。	通年	ほとんどの事業が中止となり、会員も減少しているが、会の円滑な運営を支援することができた。

令和4(2022)年度　高林公民館事業報告

1　生涯各期にわたる学びの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	少年教室 「いきいきわくわく体験楽好」 （地区内児童）	木工、星空観察会、隠れ家づくり、クリスマスリースづくり、クリスマスのお菓子づくり	6月～12月 （実施5回、中止1回） 参加者は毎回募集	22人 （97人）	特徴ある地域性を活用、体験することで、「子どもたちが身近なものからの新発見」と「地域への愛着を感じる」ことが達成できた。	子ども会育成会連絡協議会との共催
2	お家で簡単パンづくり教室 （地区内住民及び市民）	「お家で簡単」をキーワードに、パン作りを通じ、ものづくりへの関心と仲間づくりを目指す。	6月～7月 （4回）	12人 （56人）	講師の簡単で分かりやすい指導により、全4回ともスムーズに作業が進んだ。 参加者からも好評を得、ものづくりの楽しさを十分に感じることができた。	
3	高齢者学級 「いきいき学級」 （地区内高齢者	高齢者の生きがいづくり、仲間づくりを支援するため、寄席、移動教室、ニュースポーツ、世代間交流、音楽会等を実施。	6月～12月 （全5回）	35人 （131人）	感染対策を実施しながら開催し、いずれの事業も好評だった。参加した高齢者間の交流づくりの一助となっている。	
4	「ICT活用講座」 シニアスマホ教室	スマホの利便性を知る。 安全に使用する方法 カメラ、インターネットの使い方、アプリ、マップの活用	９月 （全３回）	19人 （55人）	スマホの利便性を学び、活用することで「みるメール」や市のLINE登録を行い、有事に備え情報をキャッチすることができた。	
5	キラリTAKABAYASHIライフアップ講座 （地区内住民及び市民）	高林地域でキラリ輝いて活躍する方を講師に招き、活躍する分野から健康で心豊かに過ごすための知恵や知識を学び、充実した人生を送ることを目指す。 ①コーヒーの入れ方と効果②座禅体験③みつろうクリーム④革細工	8月～10月 （4回）	25人 （66人）	高林地域でキラリ輝く方を知り、体験できるスポットを再発見できた。	
6	身体ぽかぽか温活講座 （地区内住民及び市民）	心身ともに健康で過ごすための知識を深められるよう目指す ①リンパストレッチ②耳つぼマッサージ③薬膳料理	12月～1月 （3回）	22人 （66人）	3回とも健康に役立つ内容であり、好評であった。	

7	冬の寄せ植え講座 （地区内住民及び市民）	「冬の草花」をテーマに寄せ植えを通して、潤いある生活が送れるよう支援する。	12月18日	28人	土とふれあい、季節の花を植えることで、潤いのある文化的な生活を送る一助となった。趣味を作るきっかけ作りや地域住民の交流の場となった。	
8	地元が語る郷土の歴史 （市民）	高林地区の歴史を学ぶことで郷土愛と地域の活性化を目指す ①～③高林の村々について ④「旧青木家那須別邸」見学	10月～11月 （4回）	15人 （50人）	現地見学1回を含め充実した内容となった。 講師が地元の方で歴史に精通しており、地域の歴史を深く知ることができた。	市民大学連携講座
9	大人の社会科見学 （地区内住民）	栃木県内の施設見学を通じて、地域の産業、歴史、文化を学びながら地区内住民間のコミュニケーションを図る	3月10日	19人	地区内のみならず参加希望者が多く、大好評であった。	

2　家庭教育の充実

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	星空観察会-天の川を見てみよう- （地区内小学生）	親子での活動を通じて親同士、子ども同士の連帯感を養い、かつ健全な育成を図る。	8月27日	40人	高林公民館のYouTube配信動画「星座とギリシャ神話の世界」を活用し、また講師による月の満ち欠けや望遠鏡の解説などもあり夏休みの良い思い出となった。	子ども会育成会連絡協議会との共催
2	親子交流会 （地区内児童生徒及び保護者）	ボウリングを通じたミュニケーションにより、親同士、子供同士また、地域住人との交流を図り、かつ健全な育成を図る。	2月25日	46人	単位子ども会での参加団体もあり、地域住民の交流の場となった	子ども会育成会連絡協議会との共催
3	高林小家庭教育学級	保護者・児童が対象。 リズム遊びを通じ、子育ての学習と仲間づくりの機会を提供。 （家庭教育支援事業）	8月6日	－	参加者が集まらず中止となった	
4	青木小家庭教育学級「夏休み親子ものづくり教室」	保護者・児童が対象。 小物入れづくりを通じ、子育ての学習と仲間づくりの機会を提供。 （家庭教育支援事業）	7月23日	41人	親子、保護者同士の交流を図ることができた。	

5	青木小家庭教育学級「親子ものづくり教室」	保護者・児童が対象。 インテリアライトづくりを通じ、子育ての学習と仲間づくりの機会を提供。 （家庭教育支援事業）	10月15日	22人	親子、保護者同士の交流を図ることができた。	
6	青木小家庭教育学級「親子卒業制作」	6年児童の親子が対象。 革細工づくりを通じ、親子のふれあいを図る （家庭教育支援事業）	12月8日	32人	親子で作り上げることで、達成感を味わい、卒業学年にとって良い思い出作りとなった。	
7	高林中家庭教育学級「ものづくり講座」	保護者・生徒が対象。 寄せ植え体験を通じ、子育ての学習と仲間づくりの機会を提供。 （家庭教育支援事業）	7月31日	12人	ものづくりを通じて子育ての学習と、保護者同士の交流を図ることができた。	
8	３校合同講演会 （地区内児童生徒の保護者）	子育て講演会 「デジタル機器の体への影響と予防策」 （家庭教育支援事業）	9月30日	30人	地区内小中学生の保護者対象 コロナ対策のため２校へのオンライン配信などを行い工夫して実施	高林中学校地域学校保健委員会との共催 （幹事校：青木小）

３　健康づくり・生涯スポーツの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	グラウンドゴルフ大会 （地区内高齢者）	グラウンドゴルフを通して体力の維持と住民同士及び地域間の交流と信頼関係を深める。	6月2日 10月20日	21人 （42人）	住民同士及び地域間の交流と信頼関係を深めることができた。	
2	さいかつぼーる講習会 （自治公民館長、自治会体育部長）	さいかつぼーるを通した体力向上と住民同士及び地域間の交流と信頼関係を深める。	12月8日	28人	次年度の大会再開に向け住民同士及び地域間の交流と信頼関係を深めることができた。	
3	さいかつボール交流大会	市が主催する交流大会へ管内各自治会が公民館事業として、参加することで、地区内住民同士及び地域間の交流と信頼関係を深める	３月5日	15人	地域内2チーム参加 次年度の大会再開へ向け、地域交流を深めるとともに、他市の方との交流もできた。	那須塩原市さいかつボール第10回記念大会へ参加
4	ボウリング大会 （地区内住民）	ボウリングを通した体力向上と住民同士及び地域間の交流と信頼関係を深める。	2月25日	46人	地域住民の交流の場となった。	子ども会育成会連絡協議会との共催

4　芸術文化活動の推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	倍センまつり （市民）	地域文化活動の一層の発展に寄与するため、発表の場の提供を目的に開催。 テーマ「みんなで取り組む気候変動対策」	11月20日 （展示は11月27日まで継続）	400人	地域課題をテーマに掲げ、カーボンニュートラルの取組みを実施。まつり運営の一部に電気自動車からの優しい電気を活用。招待者及び運営側の弁当箱は経木を使用した。 中学生や利用団体によるオープニングステージを実施。ニューノーマルにおいて展示を1週間継続するなど機会を増やすことで利用団体や地域住民の発表の場を提供することができた。	自治公民館長連絡協議会、子ども会育成会連絡協議会との共催
2	書初め展 （地区内児童生徒）	小・中学生の発表の場を設けることにより、地域住民の文化への理解を深める。	1月20日～ 1月31日	出品者180人	多くの地域住民が観覧することができた	子ども会育成会連絡協議会との共催

5　地域教育力の向上

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	地域学校協働本部会議会議 （管内小中学校）	本部会議の開催。 （地域学校協働本部事業）	6月2日 2月28日	27人　（51人）	学校単位のグループ討議では地域活動の情報共有が図れた。	
2	琴の演奏教室 （高林小）	６年児童が対象。伝統文化に触れ、その素晴らしさを体感する。 （地域学校協働本部事業）	12月19日	25人	伝統文化の素晴らしさを体感し、大切に守っていこうとする態度の一助となった。 地域の方々との交流が深まり地域の良さを再認識することができた。	
3	高林獅子舞 （高林小）	３・４年児童が対象。 地域の伝統行事である獅子舞に興味を持ち、昔の楽器を理解する。地域の方々と交流を深め、地域の良さを確認する。 （地域学校協働本部事業）	1月24日	52人	伝統文化の素晴らしさを体感し、大切に守っていこうとする態度の一助となった。 地域の方々との交流が深まり地域の良さを再認識することができた。	

4	百堂念仏舞 （高林小）	５・６年児童が対象施。 地域の伝統文化である念仏舞を体感し、地域を愛する心を育む。 （地域学校協働本部事業）	3月1日	48人	地域で受け継がれてきた伝統文化の良さに気づき、地域の文化継承について自分ができることを考える機会となった。	
5	絵手紙教室 （青木小）	５・６年児童が対象。 地域人材の教育力を生かし、絵や文を書く技術を高める。 （地域学校協働本部事業）	11月4日	33人	絵や文を書く技術が高まったり、文と絵のレイアウトのセンスが磨かれた。	
6	車椅子体験教室 （青木小）	５・６年児童が対象。 地域人材の教育力を生かし、どんな境遇でもたくましく生きることの大切さを学ぶ。 （地域学校協働本部事業）	11月11日	33人	車椅子を体験することで、相手を思いやる心が育った。	
7	高林中学校区花いっぱい運動 （高林中）	児童生徒が定植したプランターを地域の事業所などに設置。花木の世話を通して地域の方々との交流を図る。 （地域学校協働本部事業）	11月16日、 11月21日	41人 （82人）	新型コロナウイルス感染症の拡大による学年閉鎖のため1、2年生は中止となったが、地域に愛着を持つきっかけとなり、当事者意識の醸成を促すことができた。	
8	高林そばフェスタ （高林中）	地域に根付いているそば文化を、全校そば打ち体験を通して学ぶことにより、学校と地域の交流を図る。 （地域学校協働本部事業）	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	
9	そば打ち体験教室 （高林中）	中止となった「そばフェスタ」の代替事業。1年生対象 地域に根付いているそば文化を学ぶことにより、学校と地域の交流を図る。 （地域学校協働本部事業）	11月9日	27人	地域の特産品である「そば」に焦点をあてた学習により、地域に根付く文化を理解し、継承する意欲が持てた。	

６　生涯学習情報の提供・学習活動の支援

No.	事業名	事業内容		期日	評価
1	公民館だよりの発行	公民館活動のPRや事業の募集や報告について、地区内住民へ周知		毎月20日発行	各戸配布や館内掲示、ホームページへの掲載により、公民館事業の募集や報告のツールとして有効な手段で
2	HPの公開	公民館活動のPRや事業の募集や報告につ		随時更新	
3	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る・来る） 高林公民館動画配信	「ギリシャ神話」にまつわるYouTube動画を4シリーズ19作品配信 英語版『お花とギリシャ神話の世界』4作品を製作配信	４作品を新規配信	視聴数 合計800回	英語版のナレーション及び翻訳を地元の高校生にボランティアで行ってもらった。 地域人材の活用を行えた。
4	高林地区自治公民館連絡協議会	自治公民館長を通じての情報提供を行い、地区活動を支援した。		通年	事業実施の情報提供や活動に対する事務支援、協力を行った。
5	青木地区コミュニティ推進協議会	コミュニティの事業活動の支援を行った。		通年	事業実施の情報提供や活動に対する事務支援、協力を行った。
6	高林地区福寿会連合会	各種事業に対する事務の援助・協力を行った。		通年	事業実施の情報提供や活動に対する事務支援、協力を行った。
7	高林地区子ども会育成会連絡協議会	各種事業に対する事務の援助・協力を行った。		通年	事業実施の情報提供や活動に対する事務支援、協力を行った。
8	高林地区ソフトボール愛好会	事業に対する情報の共有を行った。		2月	活動は実施できなかったが、事業実施に向けた情報共有を行った。
9	高林公民館利用者団体	活動に対する会議室等の貸出し、支援及び協力を行った。		通年	活動に対する会議室等の貸出し、支援及び協力ができた。

令和４年度　西那須野公民館事業報告

１　生涯各期にわたる学びの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	高齢者セミナー 「ときわ学級」 （地区内高齢者）	体験活動や健康講話等の学習を通して、参加者が第二の人生においても健康で生きがいのある生活を送り、心豊かな高齢期を過ごすための一助とした。	6月～1月 （実施9回、中止1回）	29人 （167人）	今年度は、健康づくり・教養の向上・もの作りの３点に重点を置いて取り組んだが、好評で皆勤者が6名もおられた。	
2	女性教室 「なでしこ学級」 （地区内女性）	女性のための健康づくり、文化活動、学習活動等の講座を実施し、教養と資質の向上を図り仲間づくりを応援した。	6月～12月 （全7回）	18人 （98人）	色々なジャンルの学習内容に挑戦することで参加者同士の交流が図られ日常に潤いを与えることが出来た。	
3	地域ふれあい教室 「やんちゃくらぶ」 （東小児童）	講師に地域ボランティアや中学生の協力を得て、東小１年生から６年生を対象に、夏期休業期間中に課題対策や体験活動を通して、夏休みの思い出作り取り組んだ。	7月27月 8月3・17日 （全3回）	51人 （51人） 中学生ボラ34人・地域ボラ11人	中学生・地域ボランティアの協力を得て、絵画、書道、レクリエーションを学習し、集団行動の中で、異学年の仲間と協力したり、自ら考えた行動がとれるようになった。	地域学校協働本部事業
4	青少年ふれあい教室 「ワンパク大学」 （東小児童及び大学生	東小児童と国際医療福祉大学生との交流・体験活動を通して、世代を越えたふれあい・相互理解を図る事業として科学実験や木工教室、壁新聞作り、茶道体験などを行った。	6月～1月 （実施10回、中止1回）	22人 （197人） 大学生延べ44人	児童と大学生との異世代交流も11年を経過し、地域に定着するとともに、大学生のサークル活動にもしっかりと位置付けられ、様々な体験学習が生き生きと展開されている。	

5	成人大学 「ものづくりゼミナール：坂本富男拓版画コース」 （市民）	プロの芸術家を講師として招へいし、本物のものづくりに触れる機会を提供し、自ら作品を制作できる程度の技術をマスターすることが目標。講師は宇都宮在住の版画家（日本拓版画協会会長）。	7月～10月 （全8回）	12人 （92人）	殆どが初心者ということで、進み具合が懸念されたが、皆が前向きに、熱心に取り組み、、全員が作品をしっかりと仕上げ、大変充実した講座となり、自主に移行した。	
	成人大学 「小室 等ゼミナール：応援歌発表コース」 （市民）	大山公民館を会場に継続事業として３年取組み、最終年度に集大成として小室先生と受講生全員でゼミナール応援歌『我が道』を制作し、公民館まつりにおいて発表する予定が台風、新型コロナの影響で中止となる。今回は、小室ゼミまとめとして、会場を移し、事前練習等・発表会を行う。	10月～12月 （全3回）	33人 （85人）	今回は念願であったゼミ応援歌「我が道」をついに発表することが出来た。講師スタッフ、受講生全員が発表出来た感動に浸り、ゼミナールの集大成とすることが出来た。終了後の小室さんへの御礼レポートも全員が提出した。 ５月に発表の成果をまとめたDVD上映会を予定。	
	成人大学 「野球指導者養成ゼミナール：基礎編」 （市民）	市内中学校の野球指導教諭を対象に長年学生野球の指導実績のある講師との心通うゼミナールを通して参加教諭が現場に戻られて生徒との様々な場面でスムーズなキャッチボールが展開でき、指導者として自信をもって部活動等に臨むための一助とした。	12月～1月 （全4回）	24人 （68人）	開催時期等もあり、参加教諭が少なかったのが残念であった。しかし、参加教諭は異口同音に大変参考になったとのこと。実施協力の西中野球部の生徒も同様であった。今後、実践編の実施要望があった。	
6	そば打ち講習会 （市民）	そば打ち未経験者でも楽しめるような、熟練者の丁寧な指導で開催。	―	―	新型コロナウィルスの影響により中止	
7	手作り料理教室 （市民）	手作り料理を通して、「食」について興味を持ち、作る楽しさと栄養バランスのとれた食事の重要性を知り、仲間づくりを進める。	―	―	新型コロナウィルスの影響により中止	

2　家庭教育の充実

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	東小学校家庭教育学級 （東小児童・保護者）	子育ての情報交換や仲間づくりをしながら、親の成長を促せるような学習会として、宇都宮へ親子移動教室を実施した。	9月4日	22人	移動教室を通して宇宙科学や県内の文化財について、興味を持つことが出来た。親子での学びもあり、家族間の交流も図られた。	家庭教育支援事業

2	西那須野中学校家庭教育学級（西那須野中生徒・保護者）	思春期の子どもの育て方を学び、また保護者同志子育ての話を共有する機会になる親子での学習会を開催した。	12月14日	15人	クラフトテープでのクリスマスリース作りを通して、中学生との上手なかかわり方等の情報共有も図ることが出来た。	家庭教育支援事業
3	わくわく子育てネット（市民）	就園前の子どもとその家族が対象で、リトミックを中心に、人形劇、音楽鑑賞、読み聞かせ、夏祭り等、いろいろな取り組みを通して子育て支援を行った。	4月～3月（全19回）	親子330組 大人330人 子供373人	子育てに関する情報の共有・育児仲間を得る場となっている。また、リトミック学習が人気で定員オーバーが続いている。	家庭教育支援事業・子育てサロン
4	親子ミニ門松づくり教室（東小児童・保護者）	東小学校児童・保護者対象。門松を飾ることの意味を学習し、本物の竹や松を使って1対製作した。	12月17日	52人	事前にコミュニティ青少年部会役員が事前研修で製作の手順を学び、当日の講師サポートにまわり、全員が完成できた。	家庭教育支援事業・中央地区コミュニティ運営委員会との共催
5	夏休み親子木工教室（東小児童・保護者）	東小学校児童・保護者対象に、夏休みに木工作教室を親子で参加する学習会を実施。参加親子の交流を図った。	8月6日	49人 中学生ボラ12人	中学生のボランティアがコロナ対策、製作補助等に活躍し、各作品の完成に大きな力となっていた。時間差はあったが、全参加者が完成した。	家庭教育支援事業・中央地区コミュニティ運営委員会との共催

3　健康づくり・生涯スポーツの推進

No.	事業名（対象）	事業内容	期日（回数）	受講者数（延べ人数）	評価	備考
1	健康教室「ハイキング」（市民）	地区内の成人の方を対象に、自然や動植物とふれあいながら、初夏の日光中禅寺湖畔でのハイキングを通して、地域住民の健康維持、体力の向上と参加者の交流を図った。	9月16日	16人	当初予定の7月は長雨のため悪コンディションで延期したが、9月には天候にも恵まれ当初予定していた方がほぼ参加でき、初秋の日光を満喫した。	
2	目指せ！！快適ボディ講座（市民）	よりよく生きるための身体づくりを目指し、女性のための骨盤底筋トレーニング、リンパトーンストレッチ、体幹トレーニング等を学習する。	9月～11月（全5回）	21人（92人）	更年期の身体の不調を克服し、楽に動ける身体づくりを学び、受講生に大変好評で終了後、自主グループになり活動している。	市民大学連携講座
3	健康づくり講座「ボディキネシス」	ほぐして・ととのえ・動く「ボディキネシス」を通して、運動不足の解消と筋力のアップにつなげ、快適な身体作りを身に付ける。	５月～６月（全３回）	21人（57人）	地区内の女性を中心に、就業後の夜間において、日中のストレスや疲れを解消し、元気回復につながり、大変好評であった。	

4	西那須野地区コミ親善グラウンドゴルフ大会（地区内高齢者）	スポーツを通じて、西那須野地区内の地域住民の健康づくり、親睦と交流を図る。	6月16日	中央地区17人	当日は悪コンディションであったが、少数精鋭で3位に入る健闘であった。	中央地区コミュニティ運営委員会との共催
5	中央地区親善グラウンドゴルフ大会（地区内高齢者）	スポーツを通じて、地域住民の健康づくり、親睦と交流を図った。	7月2日	23人	3年間のブランクにより選手の顔ぶれが大きく変わり、事業活動の過渡期を感じた。	中央地区コミュニティ運営委員会との共催
6	中央地区輪投げ大会（地区内高齢者）	スポーツを通じて、地域住民の健康づくり、親睦と交流を図った。	12月3日	42人	中学生ボランティアの協力を得て、和気あいあいの中熱戦が繰り広げられた。	中央地区コミュニティ運営委員会との共催
7	親善ボウリング大会（地区内住民）	地域住民の親睦と健康増進のためボウリング大会を開催した。	2月18日	26人	コロナの影響で、3年ぶりの開催となったが、できる範囲の中で家族と地域の絆を深めることが出来た。	中央地区コミュニティ運営委員会との共催

4　芸術文化活動の推進

No.	事業名（対象）	事業内容	期日（回数）	受講者数（延べ人数）	評価	備考
1	郷土芸能伝承事業（東小児童）	東小児童を対象に太夫塚笠踊りを伝承した。自治会などの行事が少ないなか、まなび博郷土芸能発表会、太夫塚神社祭礼で練習の成果を発表した。	7月20月～11月13日（14回）	１５人（192人）	地元育成会の協力を得て、参加者を確保し保存会会員から熱心な指導が行われ、郷土芸能の伝承が引き継がれた。	
2	公民館利用団体作品展示（市民）	例年開催している公民館まつり・コミュニティまつりに代わる催しとして、公民館利用団体の作品展示と公民館事業の成果展示を開催。	11月5日～6日	来館者76人	新型コロナウィルスの影響により小規模な団体発表となった。公民館まつりとコミュニティまつりは３年連続中止となった。	
3	中央地区芸能大会（地区内住民）	歌、踊りなどを通して地域住民の親睦と交流の場を設ける。	―	―	新型コロナウィルスの影響により中止	中央地区コミュニティ運営委員会との共催
4	街の音楽会（市民）	子供から高齢者まで楽しめる参加型の音楽会にするため、地元の西那須野中学校合唱部の出演、公民館講座の小室ゼミナールの応援歌制作発表等を行い、世代を越えた地域住民の交流が図れた。	12月4日	120人（出演・来場者数）	観客に、公民館講座の高齢者学級、女性教室の受講生に参加いただき、出演者の発表に感銘を受け、参加することの意義を実感されていた。	中央地区コミュニティ運営委員会との共催・地域学校協働本部事業

5	地域探訪：街を歩こう （地区内住民）	中央地区住民を対象に、田園空間サテライトを歩いて巡り、地元の風土や歴史を学習した。	6月26日	22人	西コミュニティ地区の田園空間サテライト「那須疏水探訪ルート」を巡り、開拓の歴史に触れることができた。	中央地区コミュニティ運営委員会との共催

5　地域教育力の向上

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	「むかしの遊びに挑戦しよう」 （東小児童・地区内高齢者）	1年生の生活科授業に、地域の高齢者が出向き、昔の遊びの指導をして世代間の交流を図る。	―	―	新型コロナウィルスの影響により中止	中央地区コミュニティ運営委員会との共催・地域学校協働本部事業
2	西那須野中学校「防災学習」 （西那須野中生徒・保護者、地区内住民）	西那須野中学校生徒が災害時自ら考え主体的に行動できるようにするための講話や訓練体験を、学年別に学習した。	11月24日	運営協力7人 参加生徒740人	地域住民が積極的に支援し、ともに学習しながら世代を越えた地域の輪を広げていくことを目指しての第1回目。次回は地域への周知方法等を工夫したい。	地域学校協働本部事業

6　生涯学習情報の提供・学習活動の推進

No.	事業名	事業内容	期日	評価
1	コミュニティ育成援助 （中央地区コミュニティ）	中央地区コミュニティ運営委員会の事業活動を支援し、また、まつり等を共催するなど公民館とコミュニティが連携して地域づくりを推進する。	通年	定期総会、まつり等の大きなイベントはコロナ感染予防のため中止したが、各部会の事業は感染対策をするなど対策をして殆どの事業が実施できた。事業活動を支援し、地域住民の連帯感の醸成と相互の交流を図ることができた。
2	西那須野地区婦人会活動支援 （婦人会）	今まで積極的に協力してきた市主催のまつり等の事業がコロナ・国体の影響で中止されたが、烏ヶ森公園水仙の手入れ、成人式手伝い、そして栃木国体への手伝いなど、各種事業を展開している地域婦人会の事務の援助・協力を行った。	通年	感染対策をしながら工夫して事業活動をする団体を側面から支援し、地域住民の連帯感の醸成と相互の交流を図ることができた。
3	自治公民館活動支援 （地区内自治会）	情報提供を行い、地区活動を支援した。	通年	各自治公民館が自主的に地区活動を展開してきたが、まだまだかつてのように事業が実施できなかった。

4	公民館だより「公民館ロビー」の発行	公民館及びコミュニティ事業について、中央地区内住民に参加者募集、情報提供をするため、広報紙を発行する。	通年	概ね地区内住民に公民館・コミュニティ情報を周知、そしてＰＲすることができた。
5	公民館利用団体の育成 （西那須野公民館利用団体連絡協議会）	公民館利用調整会議・公民館まつり実施に伴う打合せ会議の開催や除草、大掃除の協力を通して、サークルに参加している地域住民の交流を図る。	通年	利用制限が継続し、公民館まつりが中止されて発表の場が失われたが、多くの利用団体が公民館の年末の大掃除に協力をしてくれた。また、現状を鑑み当分休会となった。

令和４(2022)年度　狩野公民館事業報告

１　生涯各期にわたる学びの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	学校外活動事業 少年教室 「ひばりのこ」 （槻沢小児童）	ものづくりをはじめ、学校とは違う各種体験活動をとおして仲間づくりや生きる力を育む。	6月～2月 （9回）	26人 （254人）	プログラミング体験や木工教室、移動教室でのツリークライミングなど幅広い体験活動を行った。調理実習も３年ぶりに実施できた。１年生から６年生までの児童が参加し、学年を越えた仲間づくりができた。	
2	シニア倶楽部 「しののめ」 (地区内高齢者)	講話、創作活動、レクリエーション活動等をとおして、高齢者の生きがいづくり、仲間づくりを図る。	5月～12月 （8回）	19人 （110人）	今年度は全てのプログラムを実施することができた。コロナ禍を経て参加者は減ったが、月1度の講座参加を楽しんでいた。３年ぶりの移動教室も好評だった。	
3	はじめての沖縄三線教室 （市民）	沖縄の伝統的な楽器である三線の弾き方を学習し、音楽を楽しみながら参加者同士の交流を図る。	7月～11月 （5回）	10人 （44人）	受講者は三線の演奏を楽しみ、おおむね満足していた。数名の受講者が引き続き練習したいと希望し、昨年度発足した三線の自主サークルを紹介した。	市民大学連携講座
4	里の味教室 (地区内住民)	地産地消と旬野菜を生かす食生活を考え、調理実習をとおして人づくりを図る。	12月16日	10人	３年ぶりに手づくりみそ講座を実施した。コロナ感染防止を考慮し、共同作業は行わず、個々の作業で作成できるように実施した。	
5	【新規】 はじめての家庭菜園教室 (地区内住民)	家庭菜園づくりをとおして自然とふれあい、コロナ禍での生きがいづくりと、仲間づくりを図る。土づくりから収穫までを学び、野菜を育てる楽しさを体験する。	6月～9月 (8回)	7人 （54人）	公民館だより及び小学校にチラシを配布し親子3組の参加となった。参加者は野菜づくりを楽しみ、収穫を喜んでいた。コミュニティで運営している「ふれあい農園」を知ってもらことができた。	狩野地区コミュニティ推進協議会との共催

6	【新規】 シニアのためのスマホ活用術 (地区内住民)	スマホの便利な使い方やスマホでの写真撮影テクニックを学び、スマホ活用のスキルアップを目指す。	9月1日 9月8日 9月15日 （３回)	10人 （29人）	LINEの使い方や写真・動画の撮影テクニックなどスマホの楽しい使い方を学んだ。LINEを知ることでSNSを利用するきっかけとなった。	
7	歴史講座「狩野地区の原街道」 (地区内住民)	狩野地区に関する歴史を学び、地域の魅力を再発見する。	11月19日	15人	江戸時代に狩野地区を通っていた米輸送のための街道や周辺地域との繋がりを学び、地域の歴史について知識を深めた。	
8	お正月の寄せ植えづくり (地区内住民)	季節の草花で寄せ植えを作り、お正月を迎える準備をする。	12月17日	12人	寄せ植えのコツや育て方を学び、自分のペースで寄せ植えを楽しんだ。葉牡丹など季節の草花を使い、お正月らしい寄せ植えができた。	

2　家庭教育の充実

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	槻沢小学校家庭教育学級 「つきのき」 (槻沢小児童・保護者)	保護者としての学びの場を提供し、保護者同士の交流を図りながら、家庭での保護者のあり方、子育て等を学ぶ。 （家庭教育支援事業）	６月～1月 （７回）	121人 （実施7回、中止2回）	親子活動では食育やSDGsにかかわる話を取り入れ家庭教育の充実を図った。WEB工場見学やスノーシュー体験など親子で楽しめるプログラムを多く実施した。	
2	かみしばいのよみきかせ (地区内未就学児親子)	地域のボランティア団体を活用し、かみしばいのよみきかせ会を開催し、親子のふれあいと交流を図る。	6月9日	12人 [親子6組]	大型かみしばいの鑑賞と親子遊びを楽しんだ。講師による子育て相談もあり、育児に忙しい中で息抜きのひと時となった。	
3	おやこふれあい体操 (地区内未就学児親子)	体幹をつくる体操により、未就学児の心身の発達を促し、親子のふれあいと交流を図る。	7月14日	12人 [親子6組]	広い多目的ホールをいっぱいに使って体操と親子のふれあいを楽しんだ。	

3　健康づくり・生涯スポーツの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	西那須野地区親善グラウンドゴルフ大会 (地区内高齢者)	スポーツを通して、高齢者の健康づくりとコミュニティ相互の交流、親睦を深めることを目的として実施する。	6月16日	15人	参加者同士の交流と健康増進を図ることができ、日頃の練習の成果も発揮できる機会となった。	狩野地区コミュニティ推進協議会との共催
2	ふれあいハイキング (地区内住民)	身近な自然や動植物にふれ、心身の健康づくりや、地域住民相互の親睦・交流を図る。	10月21日	17人	塩原の国立公園をガイドの案内で散策した。身近にある自然を再発見し、心身のリフレッシュと地域住民の親睦を深めることができた。	
3	狩野地区大運動会 (地区内住民)	スポーツをとおし地域住民の健康・親睦を深め、心豊かな地域づくりを図る。	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	狩野地区コミュニティ推進協議会との共催

4　芸術文化活動の推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	郷土芸能伝承講座「遅沢ばやし教室」 (地区内住民)	遅沢ばやしの練習と各種イベント参加の活動をとおして、郷土愛を育み地域伝承文化の継承に繋げる。	5月～2月 （12回）	8人 （59人）	今年度は郷土芸能発表会や公民館まつり、小学校の感謝のつどいで発表を行うことができた。コロナ禍の影響で参加者の減少が課題である。今後も保存会の支援を含め、継続していきたい。	

5　地域教育力の向上

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	花いっぱい運動 (三島中学校区・地区内住民)	公民館敷地内にプランターを設置し、春と秋の2回に分けて花を植え替え、地域環境の美化とこどもの情操を育む。 （地域学校協働本部事業）	6月13日、11月８日	880人 （三島中学校区）	中学生が出身小学校に出向いて、小学生と一緒に花の苗を植え、地域の緑化活動に貢献した。	
2	地域学校保健委員会(三島中学校区・地区内住民)	地域の方々と連携を図りながら学校保健活動を推進し、児童生徒の健康の保持増進を図る。 （地域学校協働本部事業）	12月6日	34人 （三島中学校区）	活発な意見交換ができ、それぞれの立場での意見を理解する機会になった。	

3	さわやかサミット(三島中学校区・地区内住民)	三島中学校区をより住みやすい地域にするための課題や改善点を、小学校の児童と中学校の生徒、地域の方々が話合い、主体的に改善しようとする態度を養うことを目的として実施 （地域学校協働本部事業）	9月２日 2月7日	143人 （三島中学校区）	３会場をＺＯＯＭでつなぎ、小中学生・地域の方々が意見交換を行った。SDGsの取り組みの中でどのような活動ができるかを、幅広い年齢層の方といっしょに考えた。	
4	夏休み宿題お手伝い講座 「ものづくり」 (槻沢小児童)	夏休みの課題を作製するものづくり講座として開催。学習の場の提供と長期休業期間の子どもの居場所づくりとして実施する。	7月29日	10人	低学年の児童が多く、全員が親子での参加となった。反射するさまざまな素材を使い、オリジナルの万華鏡づくりを楽しんだ。	
5	夏休み宿題お手伝い講座 「習字」 (槻沢小児童)	夏休みの課題を作製する習字教室として開催。学習の場の提供と長期休業期間の子どもの居場所づくりとして実施	8月19日	3人	コロナ感染症の影響により参加者が少なかった。参加した児童は丁寧に筆を運び、熱心に課題に取り組んでいた。	
6	冬休み書初め教室 (槻沢小児童)	冬休みの書初め教室として開催。学習の場の提供と長期休業期間の子どもの居場所づくりとして実施	12月27日	6人	下野教育書道展の課題に取り組んだ。子どもたちは一筆一筆丁寧に筆を運び、熱心に課題に取り組んでいた。	
7	高齢者との交流事業 (槻沢小児童)	地元の高齢者と昔の遊びを通して、郷土愛を育む。 （地域学校協働本部事業）	1月24日	67人	けん玉、おはじき、紙飛行機などの昔遊びを地域の高齢者から教えてもらい、世代間交流を図ることができた。	
8	郷土芸能保存団体との交流事業 (槻沢小児童)	つきの木もちつき唄保存会との交流活動をとおして地域郷土芸能に対する関心を高め、郷土愛を育む。 （地域学校協働本部事業）	1月11日	65人	地域の伝統文化を通し世代間交流が図れた。また、郷土芸能への理解を深め、郷土愛を育むことができた。	
9	図書ボランティア活用 (槻沢小児童)	図書ボランティアを活用し、図書室の整理や読み聞かせを通して、本に親しむ子供の育成を図る。 （地域学校協働本部事業）	5～2月 （11回）	312人	児童が読書に親しむきっかけとなり、豊かな心の育成に繋げることができた。	

10	三島中学校高齢者交流事業 (三島中学校区・地区内高齢者)	地域の高齢者との交流をとおして、スポーツや地域の伝統芸能、高齢者に対する理解を深める。 （地域学校協働本部事業）	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	
11	狩野地区盆踊り大会 (地区内住民)	地域伝統文化の盆踊り大会を開催して地域住民の親睦・連帯感を深める。	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	狩野地区コミュニティ推進協議会との共催
12	公民館・狩野地区コミュニティまつり (地区内住民)	公民館講座、教室、利用団体の作品展示、学習成果の発表とコミュニティの催し物を開催し、地域住民の交流を図る。	11月6日	400人	３年ぶりの開催することができた。地区内住民や公民館利用者等の様々な団体の催しや作品展示など多彩な内容で盛り上がり親睦が図れた。	狩野地区コミュニティ推進協議会との共催
13	狩野地区コミュニティどんどん焼き (地区内住民)	狩野地区の伝統行事を開催して、後世に伝え、心豊かな地域づくりを図る。	1月14日	310人	コロナ禍のため感染対策をおこないながらも、今年度は優観客で開催することができた。	狩野地区コミュニティ推進協議会との共催
14	ウォーキング探索隊 (地区内住民)	コロナ禍でも実施できる事業として、ウォークラリーを実施。期間内に狩野地区の遺跡等を巡りスタンプを集めて申請すると、参加賞の他に抽選で景品が当たる。	8月1日～10月30日	128人	３年目の実施となるため、２部制にしてポイントを増やし変化をつけた。地元の魅力を再発見することができ、健康増進にもつながると好評だった。	狩野地区コミュニティ推進協議会との共催
15	シトラスリボンプロジェクト	コロナ禍で生まれた差別・偏見を無くし、暮らしやすい社会を目指すための啓発活動であるシトラスリボンプロジェクトに賛同し、手づくりしたシトラスリボンとプロジェクトの内容を伝えるカードを公民館窓口で配布する。	4月～3月	－	コロナ禍での人権につい啓蒙するため実施してきたが、今年度は多くの活動が再開しており、配布数は少なかった。一定の役割を終えたと考える。	狩野地区コミュニティ推進協議会との共催
16	1年生入学祝い花火	槻沢小学校新1年生の新たな門出を祝福するため、入学式の日にサプライズで花火を打ち上げる。	4月12日	－	新入生から喜ばれ、地区内住民から評判がよかった。	狩野地区コミュニティ推進協議会との共催

6　生涯学習情報の提供・学習活動の支援

No.	事業名	事業内容	期日	評価
1	コミュニティ活動の育成支援 (地区内住民)	狩野地区コミュニティ推進協議会と連携して自主活動を支援し育成を図る。今年度はコロナ禍での活動となったため、コロナ禍でも活動できる新たな共催事業を行った。 また、コミュニティ活動における新型コロナウイルス感染対策について情報提供を行った。	通年	今年度は感染症対策を講じながら、おおむね計画した事業が実施できた。今後、時代の変化に合わせ活動を活性化させるにはどのような方法があるか新しい工夫が求められる。
2	郷土芸能の育成支援 (地区内郷土芸能団体)	郷土芸能伝承のため、各団体の活動を支援する。「遅沢ばやし保存会」「つきの木もちつき唄保存会」の２団体に対し、情報提供等行った。	通年	今年度はいくつかのイベントが再開し、3年ぶりに活動を支援することができた。遅沢ばやし教室では、小学校行事で発表の場を提供してもらうことができた。つきの木もちつき唄についてはYuotubeで配信を行った。地域の伝統文化を継承するための新たな工夫が求められる。
3	自治公民館活動の支援 （地区内住民）	備品の貸し出しや情報提供を行い、地区活動を支援する。	通年	自治会行事の実施を再開により、備品の貸出や会議のための貸館等、自治会の自主活動を支援できた。
4	利用団体の育成支援 （市民）	約３０団体へ情報提供を行い、活動を支援した。定期利用団体が、年間活動ができるよう場所の提供（確保）に努めた。	通年	今年度は活動自粛要請を行うことがなく、定期利用団体の活動を支援することができた。また、公民館まつりの開催により、久しぶりに発表の場を提供できた。
5	地域学校協働本部 (三島中学校区)	情報交換会等を行い、学校と地域の連携、事業展開を推進する。	通年	情報交換会等を通じて、地域と学校との間で情報共有と相互理解に努めた。
6	那須塩原市生涯学習チャンネル	コロナ禍でも学習を維持できるように、YouTubeを使って生涯学習に関する情報や学びを提供する。	通年	これまでの配信に加え、今年度は「つきの木もちつき唄」「遅沢ばやし」の動画を配信した。郷土芸能や地域の活動団体について広く知ってもらうことができた。
7	公民館・コミュニティだより「ひがしのかぜ」の発行	公民館及びコミュニティが実施する事業について、地区内住民に周知するため、広報紙を発行する。	通年	月1回発行し、公民館とコミュニティの事業の参加者募集や活動報告を周知することができた。

令和4（2022）年度　南公民館事業報告

1　生涯各期にわたる学びの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	少年教室 「つばめのこ」 （南小児童）	遊びやもの作りなど、子ども同士の活動を通して、自主性・協調性・創造性を養うことを目的に各種講座を実施。	6月～2月 (実施8回)	115人 （167人）	新型コロナの感染防止に取り組みつつ実施可能な範囲でプログラムを立案し実施することで、様々な経験を通して学年を越えた仲間づくりもでき、受講生の成長を図ることができた。	
2	高齢者セミナー 「すずらん学級」 （地区内高齢者）	高齢者の生きがいづくり、健康づくり、交流促進を図ることを目的に、講話や軽運動など各種講座を実施。	6月～2月 (実施9回)	210人 （514人）	新型コロナの感染防止に取り組みつつ実施可能な範囲でプログラムを立案し実施することで、高齢者の生きがいづくりや交流の促進を図ることができた。	
3	市民大学「陶芸教室」 （市民）	陶芸の初歩的技術を学び、教養を深めるとともに、継続した自主活動を促すことを目的に実施。	9月 (実施4回)	16人 （64人）	幼児を含む幅広い年代が受講し花瓶と皿を作成した。模様に植物の葉を利用したり、様々な釉のかけ方を工夫したり作陶の喜びを学ぶことができた。	
4	自主グループ育成講座 「染物教室」 （市民）	日本の伝統芸術である型染の技法を用いた染物の初歩技術を学び、生涯学習への興味喚起と仲間づくりを支援するとともに、自主グループの結成を目指して公民館の利用拡大と活性化を図ることを目的に実施。	10月～11月 (実施7回)	10人 （63人）	下絵を切り抜き『型』を作る作業から始まり、防染のノリ置きや色染めなどの手順を学習しお正月飾りを作成。同じ下絵から作っても各々の個性が出ると好評。	
5	自主グループ育成講座 「アロマ教室」 （市民）	日常生活に役立つ知識を学び生きがいづくりを促進し、趣味を通した仲間づくりで地域活性化を図ることを目的に実施。	10月22日 (1回)	12人	地元在住の講師を活用し、日常生活に役立つアロマに関する基礎知識を学び、参加者の交流促進を図ることができた。	

6	自主グループ育成講座 「キムチ教室」 （市民）	料理を学ぶことを通して家事への興味喚起を図るとともに、受講生同士の交流を深めることで地域活性化を図ることを目的に実施。	12月15日 (1回)	18人	コロナ感染予防に取り組みつつ、季節の野菜を使ったキムチ作りを実施した。地産地消や食育について考える良い機会になった。	
7	自主グループ育成講座 「トールペイント教室」 （市民）	地域住民が親睦を深めながら楽しくものづくりを学び、趣味の世界を広げることで、生涯学習のきっかけづくりや公民館の利用拡大と活性化を図る。	2月～3月 (4回)	9人 （43人）	春らしい花をモチーフにした絵柄のトレイを描き、趣味の体験ができた。人数がまとまらなかったので、自主グループになれなかったことが残念。	
8	公民館教養講座 「写経体験講座」 （市民）	新たな知識の習得と生涯を通じて生かすことのできる趣味を体験しながら、仲間づくりが期待でき、地域の活性化と公民館の利用拡大を図る。	1月14日 (1回)	4人	地元の講師を活用し、手で文字を書くことで脳の活性化が期待できる写経を体験した。心落ち着く時間を共有できた。	
9	味噌づくり教室 （地区内市民）	日本が誇る健康食である味噌を手作りすることで奥深い日本食の伝統などを学びながら、世代を越えた地域住民の交流と親睦を図ることを目的に実施。	1月15日 （1回）	41人	味噌の手作りを通して日本の伝統食品の奥深さを学ぶことができた。コミュニティとの共催事業としたことで、幅広い世代の参加者を確保することができた。	南地区コミュニティ推進協議会との共催

2　家庭教育の充実

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	南小家庭教育学級 （南小保護者・児童）	子どもたちの健全な育成を図るため、家庭における保護者の役割等を楽しく学ぶ場として、講座を実施。 （家庭教育支援事業）	7月14日 7月30日 11月5日 11月25日 12月3日 12月18日 1月15日 (実施7回)	120人	プログラムの検討に当たっては学級役員を交えて協議し、自主性を促すとともに、新型コロナの感染防止に取り組みつつ可能な範囲の事業を行った。本年度は数回公民館事業との共催で行い親子での作業に取り組むとともに受講者同士の交流を図ることができた。	

3　健康づくり・生涯スポーツの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	南地区輪投げ大会（地区内市民）	輪投げを通して、地区内高齢者の健康増進と参加者相互の交流を目的として実施。	11月20日 （1回）	15人	新型コロナの感染防止に配慮しながら参加者同士の交流と健康増進を図ることができ、高齢者に対して貴重な運動の機会を提供することができた。	南地区コミュニティ推進協議会との共催
2	西那須野地区親善グラウンドゴルフ大会 （地区内高齢者）	西那須野地区６コミュニティの合同事業として、高齢者の健康増進と参加者相互の交流を目的に実施。	6月16日 （1回）	28人	コミュニティ対抗の大会で団体優勝し、参加者は普段の練習の成果を十分発揮することができた。	南地区コミュニティ推進協議会との共催
3	公民館ハイキング	ハイキングを通して身近な自然に触れることで心身の健康増進を図るとともに、世代を越えた参加者相互の交流と親睦を深めることを目的に実施。	6月12日 （1回）	18人	中禅寺湖畔を訪れ花盛りのクリンソウ群生地をハイキングしながら自然を満喫して心身の健康増進を図り、参加者同士の親睦を深めることができた。	南地区コミュニティ推進協議会との共催

4　芸術文化活動の推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	南地区盆踊り大会 （地区内市民）	地域住民の親睦と交流を深めるとともに、コミュニティとの協働を通して住みよい地域づくりを促進することを目的に実施。	新型コロナウイルスの影響により開催中止	—	—	
2	南地区コミュニティ・南公民館まつり （地区内市民・公民館利用者）	公民館主催講座の紹介と自主活動グループの作品展示、活動紹介及び各種イベントを行い、地域住民との交流やコミュニティとの協働を促進することを目的に実施。	新型コロナウイルスの影響により開催中止	—	—	
3	南地区花いっぱい運動 （地区内市民）	南公民館敷地及び地域内の沿道などに季節の花を植えることで、地域の美化と地域相互の連携と親睦を深めることを目的に実施。	6月4日 10月29日 （2回）	39人	季節の花を植えることで公民館や地域の景観を向上することができた。また、コロナの感染防止を図りながら世代を越えた住民が植込み作業に携わることで、地域の活性化を図ることができた。	南地区コミュニティ推進協議会との共催

4	地域史跡保存活動 （地区内市民）	田園空間博物館サテライトの一つである親王台の管理（清掃活動）を通して、自然に触れ、開拓の歴史を学ぶとともに、貴重な史跡を適正に保存することを目的として実施。	6月26日 （1回）	17人	コロナの感染防止に配慮しながら親王台の下草刈り、枝おろし、ゴミ拾いを実施し、参加者同士の交流を図ることができた。また、身近な開拓の史跡に触れながら、歴史を学ぶことができた。	南地区コミュニティ推進協議会との共催
5	ミニ門松作り教室 （地区内市民）	正月飾りの一つである「門松」のミニチュア版の作成を通して日本の伝統文化を学ぶとともに、地域住民の親睦と交流を深めることを目的として実施。	12月18日 （1回）	9人	コロナの感染防止に配慮しながら門松を手作りし、日本の伝統と材料の意味などを学ぶことができた。また、参加者同士が事業に協力し合う過程で、交流を深めることができた。	南地区コミュニティ推進協議会・家庭教育学級との共催
6	小さな旅 （地区内市民）	小旅行を通して自然、文化に触れ見聞を広めながら、地域住民の親睦と交流を深めることを目的として実施。	新型コロナウイルスの影響により開催中止	—	—	
7	フレッシュリースづくり （地区内市民）	季節のイベントを楽しみながら、地域住民の親睦と交流を深めることを目的として実施。 (小さな旅の代替事業)	11月27日 （1回）	13名		南地区コミュニティ推進協議会との共催

5　地域教育力の向上

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	陶芸教室（南小5年児童）	南公民館の特徴である陶芸窯を活用し、陶器づくりの体験を通してものづくりの楽しさと奥深い陶芸の歴史などを学ぶことを目的に実施。（地域学校協働本部事業）	9月1日 9月9日 （2回）	児童・49人 教員・4人 講師・8人	児童全員が初めての体験であったが、講師の指導をよく聞きながら真剣に取り組み、各自がデザインした個性ある作品を作り上げることができた。	
2	特別支援学級自立活動 「冬を楽しもう」 （南小児童）	地域住民の指導による門松作りを通して、季節を感じ、身のまわりにある物を活用して作る楽しさを味わうことで児童の自立を促すとともに、地域住民との交流を図ることを目的に実施。（地域学校協働本部事業）	11月14日 （1回）	児童・23人 講師・1人	壁飾りやコースターなど、いろいろな材料を使用した飾り作りを通して、児童の自立を促すことができた。また、地域住民の指導のもと道具の使い方などを習得し、楽しく作品づくりをすることができた。	

3	「木製ポストカード作り」（南小5年児童）	地域住民の指導によるポストカード製作を通して、木の実など身近なものを利用したものつくりの楽しみを学び、自然への関心を促すとともに、地域住民との交流を図ることを目的に実施。（地域学校協働本部事業）	10月17日（1回）	児童・68人 講師・2人	２分の１成人式で保護者に感謝の気持ちを伝えるポストカードを製作し家族への思いを深めることができた。また、地域住民の指導・交流を深めつつ楽しく活動することができた。	
4	3学年「絵手紙教室」（南小児童）	地域住民の指導による絵手紙体験活動を通して、手紙文化への関心を深め、児童の自立を促すとともに、地域住民との交流を図ることを目的に実施。（地域学校協働本部事業）	12月16日（1回）	児童・48人 講師・2人	絵手紙の作成を通して気持ちを手紙で伝えることの必要性を学ぶとともに、手紙文化への関心を高めることができた。また、地域住民の指導のもと、手紙により感謝の気持ちを表すことを学び、児童の知見を広げることができた。	
5	「卒業式に向けて～コサージュを作ろう」（南小6年児童）	地域住民の指導のもと、コサージュの手作りを行いながら卒業に向けての児童の意欲と希望の気持ちを喚起することを目的に実施。（地域学校協働本部事業）	10月18日（1回）	児童・69人 PTA・69人 講師・3人	卒業式で自分の胸に着けるコサージュを手作りすることで、卒業に向けた児童の意識高揚を図ることができた。また、製作活動を通してこれまで自分を支えてくれた地域住民や保護者への感謝の気持ちを喚起し、将来への希望を深めることができた。	
6	ジュニアリーダー講習会「スノーシュー」（南小5年児童）	南小５年児童を対象に、講話やレクリェーションを通じて小学校最上級生となる自覚を促し、下級生のリーダーとして活躍できる人材を育成することを目的に実施。（地域学校協働本部事業）	2月5日（1回）	児童・25人 PTA・2人 講師・6人	なす高原自然の家職員の指導の下、スノーシューを体験した。家にこもりがちな冬のスポーツを楽しみながら、互いに交流を深めることができた。	

7	夏休み・冬休み宿題お助け隊（南小児童・西那須野中生徒・地区内住民）	南小児童を対象に、地域住民と西那須野中学校生徒が協力して宿題の支援をすることを通して、児童生徒の地域活動への参加促進と住民間の連携、交流を深めることを目的に実施。（地域学校協働本部事業）	8月3日・4日 1月5日・6日 （4回）	児童・生徒 52人 講師・4人	小学生の夏・冬休みの宿題（絵画、書道、ドリルなど）の仕上げの支援を地域住民と中学生が協力して行うことで、中学生のボランティア意識の醸成、小学生の目標設定に寄与することができ、地域内住民同士の交流を深めることで、児童生徒の健全育成の機運を高めることができた。	南地区コミュニティ推進協議会との共催
8	ウエスカット作業（地区内市民）	地域内から寄贈された布を、高齢者施設等で活用できる大きさにカットしてウエスを作成する作業を通じて、地域住民の協力体制と親睦を深めることを目的に実施。	2月19日 (1回)	9人	作業を通じて、参加者同士の交流と地域福祉の意識高揚を図ることができた。また、作成したウエスは社会福祉協議会を通じて高齢者施設等に寄贈し、地域内福祉活動の充実を図ることができた。	南地区コミュニティ推進協議会との共催

6　生涯学習情報の提供・学習活動の支援

No.	事業名	事業内容	期日	評価
1	コミュニティ活動の育成支援（南地区コミュニティ推進協議会）	南地区コミュニティ推進協議会の活動を支援し、育成を図ることで、住みよい地域づくりに寄与することを目的に実施。	通年	新型コロナの感染防止に取り組みながら実施できる事業を行うとともに、コロナ禍における地域活動のあり方を共に考えながら、地域の活力の低下を防ぐため連携した取組を推進すること
2	自主グループの育成支援（南公民館定例利用団体）	公民館定例利用団体への情報提供等により活動を支援したほか、公民館まつりに学習成果の発表の場を提供することで、各団体の活動の充実を図ることを目的に実施。	通年	定例利用団体へ情報提供などの支援により、コロナ禍においても感染防止に取り組みつつ可能な範囲で活動とができた。一方で、各種講座が十分
3	自治公民館活動の支援（地区内自治公民館）	自治公民館活動の活性化のために、相互の情報交換を行うことで、地区活動を支援することを目的に実施。	通年	コロナの影響もあり、自治公民館活動との相互の情報交換は十分に図ることはできなかった。このため、自治公民館を中心とした地区活動は活発とはいえなかった。

4	広報紙「みなみのひろば」の発行 （地区内市民）	公民館と南地区コミュニティと共同で広報紙を定期的に発行することにより、公民館及びコミュニティ主催事業等の紹介や、地域住民に対する啓発などを行い、情報共有を図りながら地域の連帯感向上に寄与することを目的に実施。	4月～３月 （12回）	おおむね月1回の定期発行により、公民館やコミュニティの各事業の案内、コロナの注意喚起など各種情報をタイムリーに地区住民にお知らせすることができた。また、自治会、福祉、児童健全育成などに関する地域課題を提起することで、住民が自ら考え、地域を良くしようとする行動に結びつけることができた。
5	地域学校協働本部事業 （地区内住民・児童生徒）	次代を担う児童生徒の健全育成を図るため、地域、学校、公民館が連携して各種事業を実施。	通年	今年度は、コロナの影響もあり十分な事業展開ができなかったが、その中でも南小学校児童の登下校時の見守り活動を中心としたスクールボランティア活動を通して、学校と地域との協働体制を確保することができた。また、南小学校児童を対象とした夏・冬休み「宿題お助け隊」事業を行い、地域住民や中学生との連携・交流を深めることができた。

令和4（2022）年度　西公民館事業報告

1　生涯各期にわたる学びの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	学校外活動事業 少年教室「チャレンジ☆キッズ」 （地区内児童）	モノづくりや体験学習などの様々な活動をとおして、仲間づくりや子どもの好奇心、創造を育成することを目的とする。	5月～1月 （実施7回、中止2回）	13人 （62人）	モノづくりとこの地域ならではのいちご狩りや野鳥観察などができ、子どもたちには地域の新たな発見となり、楽しく活動することができた。	
2	高齢者セミナー 「さわやか学級」 （地区内高齢者）	講話、創作活動や健康運動をとおして、高齢者の生きがいづくり、仲間づくりを図ることを目的とする。	4月～12月 （8回）	52人 （159人）	手先を使うモノづくりから身体を動かす健康体操、移動教室など楽しく活動しながら参加者同士の交流を図ることができた。	
3	味噌づくり教室 （地区内住民）	普段口にする味噌を手づくりすることで、食生活への興味、関心を持つことを目的とし実施する。	2月4日 （1回）	12人	味噌づくりしながら、発酵食品の知識や味噌の種類や材料、料理について専門家から学ぶことができた。	
4	【新規】 さくら染め教室 （市民）	身近にある桜について学び、その桜の落ち葉で素材を染色する技術を習得する。	10月20日 11月　4日 （2回）	6人 （11人）	新型コロナ感染防止のため受講生は少人数で実施したが、地域の様々な桜について学ぶことができ、協力し合いながら素材を染色し知識の習得と交流を図ることができた。	市民大学連携講座 塩原公民館と共催
5	自主グループ育成講座 「クラフト教室」 （市民）	クラフトテープを利用したバッグを制作しながら、共通の趣味を通した仲間づくりの推進及び利用団体の育成を図る。	7月1日～ 7月22日 （4回）	12人 （48人）	創作作業に個人差がでたが、参加者が協力しながら制作でき、新たな仲間づくりができた。	

2　家庭教育の充実

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	西小学校家庭教育学級 （西小児童・保護者）	親としての学びの場、友達づくりの場として子育て講演会や講座、親子活動を実施し、子育てへの理解を深め保護者同士の親睦を図る。 （家庭教育支援事業）	7月～1月 （実施5回、中止1回）	62人	講演会や講座をとおして保護者同士の交流を図ることができた。親子活動では一つの作品を作ることで一緒に達成感や喜びを感じることができた。	

3　健康づくり・生涯スポーツの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	ハイキング教室 （地区内住民）	自然に触れながら心身の健康づくりや地域住民相互の親睦や交流を図ることを目的とする。	11月20日	17人	現地ガイド案内により未成線の長倉線について歴史や遺構を説明いただきながら、鉄道文化への理解及び健康増進と地域住民の交流を図ることができた。	
2	西那須野地区親善グラウンドゴルフ大会 (地区内高齢者)	スポーツを通して、高齢者の健康づくりとコミュニティ相互の交流、親睦を深めることを目的として実施する。	6月16日	17人	参加者同士の交流と健康増進を図ることができ、日頃の練習の成果も発揮できる機会となった。	西地区コミュニティ運営委員会との共催
3	西地区親善スポーツ交流会 （地区内住民）	コミュニティの体育レクリエーション部会が中心となって地区対抗キックベースボール、輪投げ、グラウンドゴルフを実施する。	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	西地区コミュニティ運営委員会との共催

4　芸術文化活動の推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	郷土芸能継承講座 「子ども疏水太鼓」 （西小児童）	西小学校4～6年生を対象に、那須野ケ原疏水太鼓保存会の指導の下、子ども疏水太鼓の技術の習得と発表及び伝承活動を行った。	3月～1月 （35回）	24人 (620人)	コロナ禍で発表の機会が少なかったが、国体やなしお博等で発表することで、市民はじめ他県住民へも疏水太鼓への広報や認知を広めることができた。	
2	子ども夏まつり （地区内住民）	趣旨に賛同する地域の企業から賛助金で、コミュニティの各部会が中心となって、流しそうめん、バルーンアート、ビンゴ大会、輪投げ、スイカ割、露天を開催する。	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	西地区コミュニティ運営委員会との共催
3	第36回公民館・コミュニティまつり （市民・利用団体）	公民館利用団体による作品展示及び公民館事業で作成した作品展示。コミュニティ各部会は、いも煮の提供、他模擬店を開催し地域住民の交流を図る。	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	西地区コミュニティ運営委員会との共催

5　地域教育力の向上

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	西小児童と高齢者の交流活動 （西小児童・地区内高齢者）	地域の高齢者の方々の協力を得て、西小学校3年生が、けん玉やおはじきなどの昔の遊びを教えてもらい、七輪で餅を焼いて食べ交流を深める。 （地域学校協働本部事業）	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	西地区コミュニティ運営委員会との共催
2	感謝の会 （西小児童・地区内住民）	日頃からお世話になっている方（少年指導員、かやの実会、狩込どじょっこ会、農園協力者等）に、児童から感謝の気持ちを伝える。 （地域学校協働本部事業）	11月29日	287人	日頃からお世話になっている少年指導員等の地域の方々を学校に招待し、児童の手紙とお花を贈呈し感謝の意を伝えることができた。	
3	絵手紙講師による絵手紙教室 （西小児童）	6年生児童を対象として、卒業を見据え、保護者への感謝の気持ちを形あるものとして残すことで、より一層その思いを深める。 （地域学校協働本部事業）	12月　6日 1月17日 （2回）	47人	保護者への感謝を込めた絵手紙を作成することで、改めて保護者への感謝の気持ちや卒業への思いを高めることができた。	
4	三島中生徒と高齢者交流事業 （三島中生徒・地区内高齢者）	地域の高齢者と三島中学校1年生との交流を図る。 （地域学校協働本部事業）	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	西地区コミュニティ運営委員会との共催
5	花いっぱい運動 (三島中学校区児童生徒・地区内住民)	公民館敷地内にプランターを設置し、春と秋の2回に分けて花を植え替え、地域環境の美化とこどもの情操を育む。 （地域学校協働本部事業）	6月13日 11月8日	880人 （三島中学校区）	中学生が出身小学校に出向いて、小学生と一緒に花の苗を植え、地域の緑化活動に貢献した。	
6	地域学校保健委員会(三島中学校区・地区内住民)	地域の方々と連携を図りながら学校保健活動を推進し、児童生徒の健康の保持増進を図る。 （地域学校協働本部事業）	12月6日	34人 （三島中学校区）	活発な意見交換ができ、それぞれの立場での意見を理解する機会になった。	

7	さわやかサミット(三島中学校区・地区内住民)	三島中学校区をより住みやすい地域にするための課題や改善点を、小学校の児童と中学校の生徒、地域の方々が話合い、主体的に改善しようとする態度を養うことを目的として実施（地域学校協働本部事業）	9月２日 2月7日	143人 （三島中学校区）	３会場をZoomでつなぎ、小中学生・地域の方々が意見交換を行った。SDGsの取り組みの中でどのような活動ができるかを、幅広い年齢層の方といっしょに考えた。	
8	フラワーロード整備事業 （西保育園児・西小児童・地区内高齢者）	地域の高齢者が西小児童、西保育園児とともに小学校・西公民館の南面歩道にマリーゴールドを植え付け、地域の環境美化を図った。	6月17日	100人	地域の高齢者と、西小児童及び保育園児が一緒にフラワーロードを整備することで世代間の交流を図ることができた。	西地区コミュニティ運営委員会との共催
9	星空かんさつ会 （地区内住民）	コミュニティ青少年部会がいも煮会・西公民館まつりの前夜祭として実施する。	－	－	新型コロナウイルスの影響により中止	西地区コミュニティ運営委員会との共催
10	公民館利用団体作品展示会 （市民・利用団体）	コロナ禍で発表の機会が少なくなっているサークルや団体に展示発表の場を提供し、活動低下を防ぎ、芸術・文化活動の推進を図る。	11月～3月	8団体 （81人） 観覧者 （400人）	１団体10日間ごとに開催し、長く展示期間を設けることで多くの方に観覧していただくことができ、芸術・文化活動の推進を図ることができた。	

6　生涯学習情報の提供・学習活動の支援

No.	事業名	事業内容	期日	評価
1	コミュニティ活動の育成 （西地区コミュニティ）	西地区コミュニティ運営委員会が行う各会議、事業の準備段階から、日時の調整、関係機関への書類提出補助、通知発送補助、他企画への参画及び情報提供することで支援した。	通年	コミュニティが行う各種事業の実施に当たり企画への参画及び情報提供等の支援を通して、地域住民全員が参加出来るような地域づくりの活動育成が図られた。
2	自治公民館活動援助 （地区内自治会）	備品の貸し出しを通して、自治公民館事業が円滑に実施できるよう支援した。	通年	自治公民館事業の実施にあたり備品等の貸し出しを行い、自治活動の活性化が図られた。
3	自主グループへの支援 （西公民館定例利用団体）	定例的に利用している団体が年間を通して公民館を利用できるよう調整会議の開催や会員募集のちらしを張るスペースの提供を行った。	通年	同じ趣味を持ち活動している団体が年間を通し円滑に活動ができ、会員勧誘のちらしの掲示場所や活動成果の発表の場を提供することで、団体活動の活性化が図られた。
4	地域学校協働本部 （三島中学校区）	オンラインミーティングツール（Zoom)を活用して情報交換等を行い、学校と地域の連携、事業展開をした。	通年	情報交換等を通じて、地域と学校との間で情報共有と相互理解に努めた結果、地域と学校が協働しながら様々な活動を実施できたことは大変有意義であった。

令和４（2022）年度　三島公民館事業報告

1　生涯各期にわたる学びの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	少年教室 「こどもクラブ」 （地区内小学生）	三島小児童を対象とし、様々な体験学習を通して子どもの豊かな創造力を育む。１回ごとの募集とし、参加の機会を拡大する。１回の定員は15名以内とし実施。・３密を避け、ものづくり・科学実験を中心に実施。	５月~11月	23人 （延べ74人）	三島小児童を対象に実施。部活動等により参加人数に変動が出やすいが、人気が高く好評である。	
2	郷土芸能伝承講座 「こどもおはやし会」 （地区内小学生）	「三島おはやし」を練習し、地域伝統への理解を深めると同時に豊かな人間性を育てる。会場を分散し、３密を回避する。	5月～10月 17回	30人（延べ424人）	地区行事など各種イベントの中止や、コロナ禍のため発表の場は少なかった。公民館・コミュニティまつりや芸能発表会に参加し発表することができた。	
3	国際交流講座 日本語教室 （市内在住外国人）	在住外国人を対象とし、日本語の習得と学習者、指導者間の交流を深め、国際交流を図る。従来の対話型を残しつつ、対応可能なボランティア及び受講生方はZOOMによる学習を導入する。	4月～3月 （24回）	21人（延べ106人）	学習者毎にマンツーマン形式で実施し、効果的な指導ができた。	
4	三島地区高齢者学級 「昴」（地区内住民）	高齢者の健康や生きがいづくりのため、講話など様々な講座を実施する。	6月～12月 （実施8回）	16人 （延べ62人）	参加者が楽しめるプログラムを設定した。参加人数に波があったが、講話やものづくり、運動などなるべく真新しいプログラムを実施した。	
5	【新規】 大人のゆるキャン教室	余暇を楽しみ人生を豊かにする趣味の選択肢としてアウトドアに興味がありながらそのきっかけが掴めない中高年層を対象とし、キャンプの初歩的知識、あると便利な道具、アウトドアクッキング等を学習し、心を豊かにする余暇の活用方法を学ぶ	６月～８月 （実施５回）	5人 (延べ24人)	大人の趣味の選択肢の一つとして、初歩のキャンプ講座を実施。実施回数と期間が長かったため参加人数は定員に満たなかったが、これまでの公民館事業と縁遠かった年齢層の参加を得ることができた。	

6	【新規】 スマートフォンで世界を広げる講座	もっと上手にスマホを使って、ＤＸ時代に乗り遅れないための知識とスキルを身につける。（市民大学枠で対象地域拡大）	６月~7月 （実施5回）	20人 （延べ91人）	情報端末としてのスマートフォンの機能を理解し、操作のスキルアップを図るための講座を開催した。 参加者はスマホの利便性について学ぶことができたが、5回講座では時間が足りず、全体の説明が駆け足になってしまった。	市民大学連携講座
7	三島地区女性学級 「ふわり」	健やかに過ごすための生活の知恵、心身の健康、新たな教養・知識を得られるような学習内容（生活の知恵講座、ものつくり、視察研修等）で実施する。やがては地域に還元できる人材の育成につなげる	６月～12月 （実施8回）	11人 （延べ83人）	ほぼ100%に近い出席率で、参加の皆さんの学習意欲の高さを伺うことができた。リピート参加の方も多く、令和5年度は内容や開講時間等をさらに検討し、広い年代層で展開したい。	
8	【新規】 スマホ教室	ガラケーに使い慣れた方を対象にスマホ教室を開催する。操作性が変わることから多くの人が躊躇している状態であるため移行の不安を払拭できるよう、またアプリや画面が大きくタッチ操作でできるなど利便性を知ってもらうことで興味を持ってもらう。	5月～６月 （実施３回）	１７人 （延べ46人）	ドコモショップのスマホ教室のテキストを使用して基礎から学ぶことができた。スマホの利便性や危険性を学ぶ事が出来た。	
9	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る!来る!） 団体作品展・団体実演動画 （令和3年より配信開始）	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館まつりに代わり公民館定例利用団体の実演・作品展をインターネット（YouTube)で配信　計8本	通年	視聴数 3,960回	地域住民からの評判がよく、今後は定期的に配信予定。 中止となった公民館まつりをYouTubeで配信	
10	利用団体開放講座（市民）	三島公民館定例利用団体の協力のもと、各団体の体験会や初心者向け講習会などを開催する。	-	-	新型コロナウィルスのため中止	

2　家庭教育の充実

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	ひよこの会 （市内の就園前乳幼児の子とその保護者）	乳幼児の親を学習対象とし、「子育て」に関する学習会を開き、ネットワーク作りを支援する。	6～1月 （全10回）	親子12組 （延べ180人）	保母ボランティアの活用により、保護者のみでの学習会を３回開催することができた。参加保護者のネットワーク作り、新しい親子での体験や学習活動ができたと思われる。	受講者数には、「ピノキオ人形劇」、「マムソウルコンサート」に参加した市内親子の人数も含む。
2	三島小学校 家庭教育支援事業 （三島小学校）	三島小児童とその保護者を対象とし、親として家庭での子どもへの関わり方を学び、親子講座などで絆作り、親子ネットワーク作りを支援する。 講演会はPTA文化委員共催。協議により決定。	7～12月 （全６回）	195人	親子講座は、抽選となるほど参加希望があったが、講演会は参加者が少なく、保護者への案内方法について苦慮しているところである。三島小PTA文化委員と共催で作成しYouTubeで配信した動画「教えて校長先生」シリーズは大変好評を得て、2月末現在の閲覧数は480回となってる。	
3	三島中学校 家庭教育支援事業　（三島中学校）	三島中生徒とその保護者を対象とし、、家庭における思春期の子どもへの関わり方を学び、また講座での共同作業により親子のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝをはかり、親同士のネットワーク作りを支援する。	７～月 （全３回）	68人	PTA研修部との共催講演会は学年部会もあったこともあり、多くの保護者が参加した。またYouTube配信などで学び機会を持つことができた。”あおはる通信”を年3回発行し、思春期の子を持つ親へ学びの情報などを掲載した。”あおはる通信”については、次年度は紙媒体からネット配信へ移行する。	
4	三島中学校 思春期講演会 （三島中学校保護者）	思春期の子どもの“ゆれる心”について理解を深め、親としての学びを得る講演会をPTA研修部との共催で開催する。	７月19日 （全１回）	39名	「思春期における身体的成長と姿勢の関係」と題して、パーソナルトレーナーの森島　達氏を招いて実施した。	PTA 研修部 共催

5	3館合同 三島中学校区子育て講演会 （市内小中学校・市民）	三島中学校区（三島小、西小、槻沢小、三島中）の保護者を対象とし、子育てに関する学びの講演会を実施する。 今年度は狩野公民館多目的ホールで開催。元とちぎテレビアナウンサーの山科湖氏を招き子育てに関する講演会を行った。 定員は50名	11月26日 （全1回）	34名	10年以上続く合同講演会だが、年々参加者が減少している。今年度は案内も工夫したが、参加者の増加には至らなかった。参加した保護者からのアンケートから、講演会を希望する回答は少なく、今後は親子参加型のワークショップやコンサート、観劇等への思い切った内容変更も考えていきたい。	三島公民館 西公民館 狩野公民館

3　健康づくり・生涯スポーツの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	三島地区グラウンドゴルフ大会 （地区内住民）	手軽に楽しめるスポーツを通じて地区住民の親睦と交流を図る。	３月16日 （木）	37名	一年の活動の成果と交流を目的として実施。競技よりも交流を目的とした大会のため参加者は楽しくゲームをすることが出来た。	
2	三島公民館グラウンドゴルフ （地区内住民）	三島公民館グラウンドゴルフ教室として、三島、東三島、西三島、南郷屋、東赤田の愛好者へ参加を募り、練習を行った。	通年 （毎週月・木・金）	33名	高齢者の体力維持、社会参加促進を目的として実施	

4　芸術文化活動の推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	第36回三島公民館・三島コミュニティまつり （地区内住民）	公民館講座の紹介と利用団体の作品展示、発表、即売及び、コミュニティ模擬店、芸能発表会	10月22日 （日）	1,000人	入場口での消毒・検温を実施。開催時間も短時間で、感染防止対策を行い開催した。参加団体数は減少したが、ホールでの芸能発表、公民館各部屋での利用団体の展示など行った。	三島地区コミュニティ運営委員会との共催
2	夏の子ども劇場 （市民）	子どもたちに演劇鑑賞の機会を提供し、情操を豊かにし、公民館やホールへの親しみを促す。	７月31日 （日）	193名	コロナ対策として、整理券を発行し、座席レイアウトに余裕を開催した。市広報に掲載したため、しないから多くの方に鑑賞していただいた。	

5　地域教育力の向上

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	花いっぱい運動 （三島中学校区・地区内住民）	三島中学校区内の小学校と公民館にプランターを設置し、春と秋の２回に分けて地域住民と小中学生が協力して花を植え替え、地域環境の美化と児童の情操を育む。	6月13日、11月８日（２回）	880人（三島中学校区）	三島中学校生徒と三島小学校児童が植えた花を各自治公民館に配布することにより地域の方々に大変喜んでいただいた。プランターを公民館等に置いてもらうことで、児童・生徒が、地域のために貢献しようとしていることを地域住民に知ってもらえるようにした。	地域学校協働本部事業 三島地区コミュニティ運営委員会との共催
2	七夕まつり （三島小学校区）	コミュニティ、子供会育成会との共催で、七夕の飾付を行うことにより、児童の豊かな人間性を育む。	中止	―	三島小学校校舎修繕のため、合同で制作が困難となり実施なし。	地域学校協働本部事業 三島小学校単位子ども会育成会連絡協議会・三島地区コミュニティ運営委員会との共催
3	三島小学校感謝の集い （三島小学校）	日ごろお世話になっている地域の方々を招き、感謝の手紙の朗読や花束を贈るなどして、感謝の気持ちを伝える。	11月18日	750人	新型コロナウイルス感染症対策のため、年間を通してお世話になった地域の方を招待することはできなかったが、感謝の手紙とお花を贈呈し、児童の感謝の気持ちを表した。地域の方々には児童の気持ちが伝わることにより、学校への関わりを深める一助となった。	地域学校協働本部事業・三島地区コミュニティ運営委員会との共催

4	さわやかサミット	・三島中学校区を大切にしたり、住みやすいより良い地域にしたりするための課題や改善点を、小学校の児童と中学校の生徒、地域の方々が協力して主体的に改善しようとする態度を養う	9月2日 2月７日	143人（三島中学校区）	Ｚoomで「ふるさとを大好きになるために、地域の特性を生かしてどんなことができるだろう？」→「SDG′ｓの取り組みの中で私達にはどのような活動ができるだろう」をテーマに、小学生・中学生・地域の方々が意見交換し、各小学校ごとに意見発表を行った。・地域を巻き込む形で実施することで、幅広い年齢層の人たちが、地域の共通の話題について熟議する場面が生まれた。	地域学校協働本部事業
5	三中フェスティバル（三島中学校）	文化祭に、生徒による合唱・演奏発表、作品展示などを通して、地域の方々との文化交流を図る。	10月29日	―	新型コロナウイルス感染防止のため、保護者以外の入場を制限し、交流活動は中止となった。	地域学校協働本部事業
6	三島中学校 総合的学習 高齢者交流会 （三島中学校）	地域の高齢者の方々から、伝統料理やスポーツを学び交流を図ることによって、豊かな人間性を育む。	―	―	新型コロナウィルスのため中止	地域学校協働本部事業
7	三島中学校 総合的学習福祉体験講座 （三島中学校）	障害者に関する講話や実技を学ぶことにより、福祉への理解を深め、地域社会への貢献育成を図る。	11月16日	215人	「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症に関する基礎的な知識・対応法を学ぶとともに、認知症に対する偏見や差別をしない社会について学ぶことができた。	地域学校協働本部事業

６　生涯学習情報の提供・学習活動の推進

No.	事業名	事業内容	期日	評価
1	三島地区コミュニティ運営委員会 （地区内住民）	三島地区コミュニティ運営委員会の活動を支援し、育成・連携を図る。 【主な連携・支援事業】	通年	今年度は小規模ながら公民館・コミュニティまつりを実施し、多数の地域住民が来館して。また、各部会で「地域
2	西那須野地区自治公民館連絡協議会 （西那須野地区）	情報提供や研修会を行い、地区活動を支援する。	通年	視察旅行は、参加者少数のため中止。 令和4年度事業報告書作成した。

3	自主グループ利用団体 （市民）	情報提供を行い、活動を支援する。（定例利用４９団体）	通年	令和５年度に向けて、公民館利用団体打ち合わせを行い、利用について、改めて共通理解を持てるようになった。
4	三島小学校区子ども安全推進連絡会（三島小学校区）	地区自治会、コミュニティ、民生委員、少年指導員、学校、ＰＴＡ、育成会、公民館で組織し、各団体の取り組みや地域の実情、課題等の共通認識を図る。	通年	令和4年度実施なし。
5	地域学校協働本部	定例会議や情報交換会等を行い、学校と地域の連携及び事業の推進を図る。	通年	本部会議で「SDG’ｓ」についてKJ法を取り入れグループで研修を行った。

7 コロナ禍における新たな取り組み

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る!来る!） 団体作品展・団体実演動画	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館まつりに代わり公民館定例利用団体の実演・作品展をインターネット（YouTube)で配信　計8本	通年	視聴数 3,960回	地域住民からの評判がよく、今後は定期的に配信予定。中止となった公民館まつりをYouTubeで配信	

令和４年度　大山公民館事業報告

１　生涯各期にわたる学びの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	少年教室 「おおやま体験塾」 （地区内児童）	大山小児童を対象に、種々の体験活動を通して、子供の持つ豊かな感性や創造力を育てるための場を提供する。	5月～1月 （実施9回）	20人 （133人）	定員超過の申込がある人気の教室で、普段できない体験活動に加え、親子間や子供同士が交流できる学習内容で、今後の家庭の日の受け皿として、また受講希望の児童を漏れなく受け入れていく等の課題もある。	
2	少年教室 「レッツダンス体験塾」 （地区内児童）	ストリートダンスの学びを通して、仲間との協調性、協力する大切さを会得し、体力の向上を図る。コミュニティまつりでの発表を目指す。	5月～11月 （実施7回）	13人 （77人）	新型コロナウイルスの影響により、10月の大山コミまつりが中止となったが、別の日に大山公民館多目的ホールで日頃の練習の成果を発表できた。	
3	高齢者セミナー 「悠々大学」 （地区内高齢者）	概ね６０歳以上の方を対象に、心豊かな高齢期を過ごすための一助として、体験活動や健康講話等の学習を展開する。	5月～1月 （実施9回）	63人 （280人）	大学の目標としている「人と交わることの大切さ、そして人からの教えを聴くことの意義」、双方の習得に向けて、きちんと取り組まれていた。出席率は比較的良かった。	
4	市民大学 「大山の歴史講座」 （市民）	市内全域を対象に、那須野が原の開拓の歴史と大山地区名の由来となった「大山巌」をはじめ、明治期の華族や開拓地の成り立ちを学ぶことを通して、市民の交流と地域理解を深める場とする。	8月～10月 （実施5回）	21人 (83人)	大山地区について初めての歴史講座であったが、歴史上の人物の裏話などもあり好評であった。現地視察もより理解を深めるきっかけとなった。	市民大学連携講座
5	大山カレッジ 「大山クワガタ教室」 （地区内児童とその保護者）	自然の昆虫(クワガタ)の生態について、幼虫から成虫になるまでの過程を学ぶ。	5月～12月 （4回）	親子9組 （90人）	親子でニジイロクワガタの生態について、幼虫から成虫になるまでの過程を学び、生命の神秘や尊さを学ぶことができた。講座終了後は自主グループへと発展した。	

6	大山カレッジ「スマホ活用術教室」（市民）	スマートフォンの活用について、参加者のスマホを用いてSNSアプリの利用やスマホカメラの利用方法などについて学んだ。	12月（3回）	13人（36人）	スマートフォンの基礎知識を学習し、実際に操作しながら楽しい使い方や活用の仕方、テクニックを学ぶことができた。	

2　家庭教育の充実

No.	事業名（対象）	事業内容	期日（回数）	受講者数（延べ人数）	評価	備考
1	大山小家庭教育支援事業（大山小児童、保護者）	家庭教育の実習を通して、子供を理解する力を学んだ。各学習会を通して、親同士の情報交換の場として交流も深めた。新型コロナウイルスの影響により中止となった事業もあるが、実施分はコミュニティとの共催で開催した。（家庭教育支援事業）	7月～2月（3回実施、2回中止）	63人(木工25人・門松38人)	親子による体験学習を通じて、相互に理解し合う機会を提供した。特に製作学習での協同作業は、親子のふれあいを深め、共通の話題作りにもつながった。また、新型コロナウイルス対策への理解も深まり、大変有効な事業であった。	
2	夏休み親子木工工作教室（大山小児童、保護者）	親子での協同作業を通して、ふれあいを深めるとともに、心に残る夏の思い出づくりに一役買うことが出来た。今回は、大山小家庭教育支援事業との共催で取り組んだ。（家庭教育支援事業）	7月31日	25人	親子でのふれあう機会を提供して、木工キットを利用し、のこぎり、クランプ等の道具を使って加工し、協同作業により作品を仕上げた。	大山地区コミュニティ運営委員会との共催

3　健康づくり・生涯スポーツの推進

No.	事業名（対象）	事業内容	期日（回数）	受講者数（延べ人数）	評価	備考
1	西那須野地区親善グラウンドゴルフ大会（地区内高齢者）	スポーツを通して、高齢者の健康づくりとコミュニティ相互の交流、親睦を深めることを目的として実施する。	6月16日	45人	他地区の参加者同士の交流と健康増進を図ることができ、日頃の練習の成果も発揮できる機会となった。	大山地区コミュニティ運営委員会との共催
2	世代間交流グラウンドゴルフ大会（地区内住民）	地域住民の親睦と健康増進を図るために実施した。	11月20日	62人	地区コミュニティの協力をいただき、安全に実施できる体制を確認しながら、世代間の交流が大いに図れた。	大山地区コミュニティ運営委員会との共催

3	大山健康ハイキング （地区内住民）	地区内住民を対象に、健康増進と自然探勝を兼ねて奥日光方面へのハイキングを実施した。	7月12日	17人	参加人数を絞って、新型コロナウイルス対策をした散策を実施し、久々に大自然を感じることが出来た。	
4	大山地区ニュースポーツ体験 （地区内住民）	地域住民の親睦とニュースポーツの地区内普及を図るために実施する。	2月12日	22人	地域内住民にニュースポーツを一緒に体験してもらうことで、体験したニュースポーツへの興味を向上させ、地域住民の交流を図ることができた。	大山地区コミュニティ運営委員会との共催

4　芸術文化活動の推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	第30回大山コミュニティまつり （地区内住民）	利用団体による学習成果の発表とコミュニティが中心となったさまざまな催し物を通して、地域住民のふれあいを深める機会とする。(展示・即売・模擬店等)	―	―	新型コロナウイルスの影響により中止	大山地区コミュニティ運営委員会との共催
2	大山公民館展示会	大山コミュニティまつりは中止するも、展示会は入室人数制限など新型コロナウイルス対策が比較的容易に実施できるものとして開催した。	11月5日 11月6日	200人	新型コロナウイルス対策をしながらも多数の見学者が来館し、利用団体による学習成果の発表ができた。	
3	第28回大山コミュニティどんどん焼き （地区内住民）	大山コミュニティ・大山小学校・育成会との連携で、地域の伝承行事を実施する。学校教育と社会教育の連携事業とする。	1月13日	96人	昨年度と同様新型コロナウイルス対策のため、規模を大幅縮小して実施し、地域の伝承行事を継承することができた。	大山地区コミュニティ運営委員会・大山小子供会育成会連絡協議会との共催
4	花いっぱい運動 （地区内高齢者、那須特別支援学校高等部生）	コミュニティ広場の環境整備を通して、地区内の高齢者と那須特別支援学校生徒との交流を図った。	6月2日 10月31日	44人 （6月2日） 37人 （10月31日）	地域の高齢者と特別支援学校生徒による花壇整備、花苗植栽、さらに交流会が地域行事として定着してきている。双方の協同作業が有意義な交流事業へと育っている。	大山地区コミュニティ運営委員会・栃木県立那須特別支援学校との共催
5	大山小さな旅 （地区内住民）	地域住民の親睦と交流を図るとともに、参加者の見聞を広める一助とする。	―	―	新型コロナウイルスの影響により中止	大山地区コミュニティ運営委員会との共催

6	お正月用ミニ門松作り教室 （地区内住民）	お正月飾りの意味を学び、参加者自ら作製したミニ門松でお正月を迎える準備を行った。今回も、大山小家庭教育支援事業との共催で取り組んだ。	12月17日	38人	講師の説明を聞きながら、作業が順調に進んだ。道具、机を共有せず、全て一家族・個人ごとに揃え、換気も適宜行い対策もしっかり行えた。	大山地区コミュニティ運営委員会との共催

5　地域教育力の向上

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	伝承活動継承事業 （地区内高齢者、大山小6年生）	伝承行事であるどんどん焼きの繭玉だんごづくり等の準備を通して、地域の文化と技術の伝承、児童と高齢者等との交流を図る。（地域学校協働本部事業）	―	―	新型コロナウイルスの影響により中止 ※どんどん焼きは人数制限をし大幅に規模縮小して実施した。	大山地区コミュニティ運営委員会・大山小子供会育成会連絡協議会との共催
2	自然体験農園活動〈稲作栽培〉 （大山小5年生）	児童が地域の農業従事の方に指導をいただき、農業体験を通して、食の大切さを学ぶ機会とした。（地域学校協働本部事業）	5月～11月 （3回）	130人	農業体験を通して、自然の恵みに感謝する心が育まれ、地域の方とふれあうことが出来た。 また、自然、大地に直接触れる機会もあり大変貴重な体験が出来た。	
3	自然体験農園活動〈さつまいも栽培〉（大山小1～3年生）			360人		
4	大山地区子ども会リーダー養成教室 （大山小４・５年生）	次年度学校、子ども会等で中心的役割を担う児童に、リーダーとしての自覚を持って、下級生に慕われる上級生を育むことを目指して実施する。（地域学校協働本部事業）	1月29日	30人	ゲーム・レクやニュースポーツを体験し、仲間と積極的にコミュニケーションを図りながら、縦のつながりの中でリーダーの役割を学ぶことができた。	大山地区コミュニティ運営委員会・大山小子供会育成会連絡協議会との共催

6　生涯学習情報の提供・学習活動の支援

No.	事業名	事業内容	期日	評価	備考
1	コミュニティ育成・支援・連携（大山コミ運営委員会）	コミュニティ活動を育成、支援するとともに、種々の地域活動と連携を図った。	通年	本会及び部会事業への活動支援等を通して、継続して地域力の向上に努めた。	大山地区コミュニティ運営委員会との共催
2	自治公民館活動支援（地区内自治公民館）	活動への指導、助言を行うとともに、情報提供を行う等の地域活動を支援した。	通年	自治公民館への地区活動への支援を行った。今後も継続する。	
3	公民館利用団体の育成支援（公民館定例利用団体）	情報の提供を行うとともに、自主活動を支援した。	通年	公民館定例利用団体に対し公民館利用のお知らせを行いあらためて共通理解を持った。	

令和4年度　ハロープラザ事業報告

1　生涯各期にわたる学びの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	高齢者学級 「やしお大学」 （高齢者）	高齢者が楽しく生き生きと暮らせるように教養、健康、娯楽、仲間づくりをメインに実施する。	5月～１月 （9回）	29人 （139人）	新型コロナの影響で活動の制限はあったが全講座を実施できた。また受講者へのアンケートでは講座内容等について概ね満足いただいた。	
2	少年教室 「わんぱくチャレンジ塾」 （地区内児童）	小学生を対象とした体験教室、移動教室などで子どもたちの好奇心・知識欲を刺激し、チャレンジ精神の高揚を図る。	６月～12月 （7回）	13人 （70人）	新型コロナの影響で、活動の制限はあったが、ものづくりやスポーツ体験などで仲間づくりが図れた。	
3	成人セミナー 「ヨガ＆ピラティス」 「脳トレエアロ」 （地区内住民）	運動不足解消を目的に家庭でもできる初心者向けの体幹トレーニングとダンス教室。	11月13・27日 2月19・26日 （4回）	38人 （60人）	自宅でも簡単に取り組める内容であり、久しぶりの運動に受講者も満足していた。	
4	イケ麺教室 （地域内住民）	うどん、そば打ちの講座	11月26日 12月3日 （２回）	9人 （14人）	「粉、打つ、切る、茹でる」の説明。香りを楽しむ食べ方の紹介など受講者は満足していた。また、男性の関心度が高く参加者の7割を占めた。	
5	春の寄せ植え教室 （地域内住民）	春の草花の寄せ植えすることで、参加者の各家庭で四季を感じとってもらう。	2月4日 （1回）	12人 （14人）	寄せ植えの技法を学ぶと共に、参加者の作品を互いに鑑賞し、少し早めの春を感じてもらった。	

2　家庭教育の充実

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	関谷小家庭教育学級（1年生児童・保護者及び希望する保護者）	親子deリズム体操 （家庭教育学級）	8月20日 （１回）	16人	ジャンプを基本に手の動きや回転をリズミカルに取り入れた運動を親子で楽しく取り組んでいた。	

2	関谷小家庭教育学級（1年生児童・保護者及び希望する保護者）	親子deアウトドア体験（段ボールでピザを焼こう）（家庭教育学級）	11月26日（１回）	21人	親子で協力しあって段ボールで窯をつくり、ピザを焼いている間は他の家族と交流を持ちとても和気あいあいとした雰囲気であった。	
3	関谷小家庭教育学級（1年生児童・保護者及び希望する保護者）	親子deものづくり（クリスマスツリー作成）（家庭教育学級）	12月10日	－	新型コロナウイルスの影響により開催中止	
4	大貫小家庭教育学級（保護者）	ものづくり講座（クリスマスツリー作成）（家庭教育学級）	12月9日（1回）	9人	講師が急遽欠席となったが、皆見よう見まねで作成し、保護者同士の交流を深めることができた。	
5	大貫小家庭教育学級（保護者）	講話「環境の変化に伴うこころのケア」講師：臨床心理士・公認心理士　小野　薫　氏	2月24日（1回）	21人	子どものこころのSOSへの対処についての講演。義務教育学校への統合を目前に控えた時期にタイムリーな内容の講演であると好評を得た。	
6	横林小家庭教育学級（児童・保護者・地域内住民）	親子見学会手品・曲芸の鑑賞と体験	11月26日（１回）	56人	学習発表会のアトラクションの一つとして開催。児童とPTA、地域住民をつなぐツールとして好評を得た。	
7	箒根中家庭教育学級（保護者）		－	－	新型コロナウイルスの影響により開催中止	
8	大貫保育園家庭教育支援事業（保護者）		－	－	新型コロナウイルスの影響により開催中止	
9	箒根地区合同家庭教育学級（保護者）	なす高原自然の家見学（オリエンテーリング・バードコール作成）（家庭教育学級）	9月9日（1回）	24人	初となる4校合同研修会。学校行事で利用する施設を見学し活動への理解を深め、子どもとの体験の共有を図り、また、令和5年度の学校統合に向けて保護者同士の親睦を図ることができた。	
10	家庭教育学級事業ＰＲ	各校で行った事業の様子をハロープラザ館内に掲示	通年	－	来館者に向けた事業ＰＲに有効であった。	

3　健康づくり・生涯スポーツの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	ハイキング （市民）	ハイキングを通して健康増進と参加者相互の交流を図る。	６月11日 10月21日 （2回）	38人	森林浴を楽しみながら参加者相互の交流が図れた。	6月は塩原公民館と共催で実施

4　芸術文化活動の推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	ハロープラザまつり （地区内住民及び利用団体等）	主催講座（教室）や地区内小中学校、公民館利用団体の発表を通し、地域住民との交流を図る。	11月5日 ～11日 作品展:7日間 ステージ発表:1日	参加17団体	新型コロナの感染状況の見通しが不明であることから規模を縮小し作品展を中心とした内容で開催。規模は縮小したが4年ぶりの開催で各団体に満足いただけた。	ハロープラザまつり運営委員会との共催
2	ミニ門松づくり （地区内住民・児童生徒・保護者）	ミニ門松を作りながら、昔から伝わる風習を学ぶ。	12月18日 （１回）	大人9人 子供9人	老若男女、とても興味を持って参加していた。来年度も手作りしたいという声があり、計画をする予定。	
3	味噌づくり教室 （市民）	手作り味噌を自ら仕込み、味噌本来の美味しさや先人の知恵である発酵食品の良さを体験する。	１月14日 （１回）	15人	自家製味噌づくりが恒例の家庭も多く、参加者からは来年度も実施してほしいとの要望がある。	

5　地域教育力の向上

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	郷土史講座 「塩原を掘る」 （市民）	那須文化研究会の研究発表を多くの市民に聞いてもらい、塩原の歴史を学ぶことで郷土愛を深める。	9月10日 9月24日 （2回）	53人 （82人）	アンケート結果から参加者の満足度が大変高く、次年度以降も継続的な開催を望む声が多い	市民大学連携講座 那須文化研究会との共催
2	地域施設見学会 （市民）	地域内及び近隣の普段では入れない企業、研究施設等を見学し、地域の産業や特色を学び郷土理解を深める。	7月27日	－	申込者少数のため中止	

3	郷土の歴史探訪 （市民）	地元にゆかりのある明治・大正時代の元勲の別荘や江戸時代に幕府から派遣された公儀巡見使がたどった道を現地を見学しながら学び、郷土の歴史への理解を深め、生涯学習意欲の啓発を図る。	６月15日 7月17日 9月4日 11月12日 （4回）	23人 （78人）	アンケート結果から参加者の満足度が大変高く、次年度以降も継続的な開催を望む声が多い	市民大学連携講座
4	子供会対抗かるた取り大会 （地子連会員）	塩原の名所旧跡や民俗風土を盛り込んで作られた「塩原かるた」を使って子ども会対抗のかるた取り大会を開催。	1月22日 （1回）	50人	参加団体数、人数ともに近年減少傾向である。継続的に開催方法の見直しが必要である	ハロープラザ地区子供会育成会連絡協議会との共催
5	サマースクール （地区内児童）	地区内小中学校と協働し、地域の方を講師とした地区内児童に向けた宿題や体験学習を実施する。	7月31日 （1回）	23人	書道、経木細工、粘土細工の教室に分かれて実施。最後に完成作品を全員で鑑賞し、交流も図れた。	
6	地域学校協働本部会議 （地域学校協働本部委員）	地域学校協働本部事業に関して情報及び意見の交換を行い学校と地域との連携を図る。 （地域学校協働本部事業）	7月7日 3月14日 （2回）	28人 （42人）	7月の本部会議において箒根学園新設後も継続して実施してほしい事業等についてグループ討議を行い、次年度事業の資料とすることができた。	
7	和太鼓実習 （箒根中生徒1年生）	和太鼓を演奏する体験を通し、地域の伝統芸能への興味関心を高め、文化を継承しようとする意識を高める。 （地域学校協働本部事業）	11月7日 （1回）	31人	和太鼓に触れ演奏することで貴重な体験となった。また、地域に根差した文化に身をもって触れることに加え、和太鼓を習っている生徒の実技演奏を見ることで伝統継承の必要性について感じることができた。	
8	絵手紙教室 （箒根中生徒2年生・保護者）	立志式の記念行事として、絵手紙を制作することを通して、今まで関わってきた方々へ感謝の気持ちを伝える。 （地域学校協働本部事業）	１月27日 （1回）	36名	絵手紙制作を通して、今まで関わってきた方々への感謝の気持ちを伝える予定だったが、内容を変更し式典のみの開催となった。	
9	親子奉仕作業 （箒根中生徒、保護者、地区内住民）	奉仕作業を通して、奉仕の心を養う。 （地域学校協働本部事業）	５月５日 8月27日 （2回）	170人 （340人）	生徒が保護者とともに活動することで、奉仕の心を養った。	

10	親子廃品回収 （箒根中生徒、保護者、地区内住民）	廃品回収作業を通して、地区内住民との交流を図る。 （地域学校協働本部事業）	8月21日 （1回）	120人	生徒が保護者とともに活動することで、地域住民との交流を図った。	
11	御嶽山祭 （箒根中生徒、保護者、地区内住民）	地域の伝統行事を通して、地域住民との交流を深める。	11月23日		新型コロナウィルスの影響により中止	
12	花いっぱい運動 （箒根中生徒、保護者）	学校及び地域の環境整備と地区内住民との交流を図る。 （地域学校協働本部事業）	11月2日 （1回）	85人	生徒会が中心となり実施することにより、リーダーとしての資質を向上、生徒の環境美化に対する意識を向上を図ることができた。コロナ禍のため地域との交流を行うことができなかった。	
13	田植・稲刈り体験 （関谷小児童5年生、PTA総務部）	田植や稲刈り体験を通し、食についての意識を高める。 （地域学校協働本部事業）	５月10日 10月18日 （各1回）	34人 （68人）	田植え、稲刈り、脱穀体験を通して、食への関心が高まった。多くの方に関わっていただき感謝の気持ちを育成することができた。	
14	朝ごはんプロジェクト （関谷小児童、PTA総務部）	朝食の良さや大切さについて理解することを通して、食についての意識を高める。 （地域学校協働本部事業）	5月～7月 毎週金曜日 （10回）	154人 （1,540人）	朝ご飯を食べることにより、一日の生活のリズムを整えると共に、食や協力者への感謝が育まれた。地域の理解のもと多くの食材が提供された。	
15	地域巡り等 （関谷小児童3年生・6年生）	「地域探検学習」として地域の歴史や自然等について学び、児童の地域愛の醸成を図る。	5月12・18日 10月28日 （3回）	3年生22人 6年生25人 （72人）	身近な地域に出かけ、地域の特色を知ることができ、見学内容のまとめを通して思考力・判断力を養うことができた。天候に左右されるため、日程調整が難しい。	
16	地域巡り等 （関谷小児童6年生）	「お琴教室」として琴の演奏に触れ日本の文化に親しみ、日本の文化を大切にする心情を育てる。	1月20日 （1回）	30人	琴の演奏を聴いたり琴に触れたりする活動を通し、日本の文化を大切にしようとする心情を育てることができた。	

17	ふるさとふれあい学習会（関谷小児童1～3年生・祖父母）	苗植えの活動を通し、参加者との交流を図る。（地域学校協働本部事業）	６月	－	日程調整困難(感染症対策、校舎改修)のため開催中止	
18	ふるさとふれあい学習会（関谷小児童4～6年生・祖父母・保護者、地区内住民）	炭酸まんじゅうづくりを通し、参加者との交流を図る。（地域学校協働本部事業）	11月	－	日程調整困難(感染症対策、校舎改修)のため開催中止	
19	スキー教室（関谷小児童3～6年生、保護者）	より多くの方に指導をしてもらうことで、児童の技術向上と安全を確保する。（地域学校協働本部事業）	１月27日（1回）	168人	地域の特性を生かし、スキー技術を習得できる機会とできた。	
20	田植・稲刈り体験（大貫小児童５～６年生）	田植や稲刈りの仕方を教わり、稲作体験をすることで食についての意識を高める。（地域学校協働本部事業）	５月16日 10月17日 （各１回）	9人 (18人)	田植え、稲刈りを手作業で体験することで、お米を作っている人の苦労を知るとともに感謝の気持ちを育むことができた。	
21	語りを聞く会（大貫小児童）	朝の活動時に地域の人材（語り部の会）を活用して塩原の民話を聞く。（地域学校協働本部事業）	５月25日 6月8日 10月26日 1月11日 （４回）	18人 （72人）	語り部の方の話を興味深く聞くことができた。また、日本語の伝統的な音感に親しみ豊かな言語感覚を養うことができた。	
22	花いっぱい運動（大貫小児童、地区内住民）	地区内住民と学校が協力して花植えをしながら交流・情操育成を図る。（地域学校協働本部事業）	6月8日 6月22日 （２回）	16人 （32人）	感染拡大防止のため、地域の方との交流活動は中止としたが、廃校後も花壇に花を咲かせ続け地域の方に見てもらえるよう活動を行った。	
23	ギネス大会（大貫小児童・保護者、地区内住民、大貫保育園児）	児童が準備したアトラクションを楽しんでもらい交流を図る。（地域学校協働本部事業）	7月8日 （１回）	16人	コロナウイルス感染拡大防止のため参加者は保護者のみで実施した。参加者が楽しめるようアトラクションの内容を工夫し参加者との交流を図ることができた。	
24	感謝の会（大貫小児童・保護者、地区内住民）	お世話になっている地区内住民の方に感謝の気持ちを伝える。（地域学校協働本部事業）	12月15日 ～20日	27人	対面での会は中止し個別に贈呈を行った。手紙や寄せ書きを準備する活動を通し児童の感謝の気持ちを高めることができた。	

25	ぬくぬくフェスタ（大貫小児童、保護者、地区内住民）	保護者や地区内住民の方に日頃の学習成果を参観してもらい交流を図る。（地域学校協働本部事業）	11月26日（１回）	58人	創意工夫することで豊かな表現力や学習意欲の向上を図ることができたが、感染対策のため地域方を招待できなかったのが残念である。	
26	スキー教室（大貫小児童、保護者）	地域の人材を活用し、スキーに親しみながら技術を学ぶ。（地域学校協働本部事業）	１月20日（１回）	17人	大自然に触れると共に保護者、地域ボランティアを要請することで安全に楽しく冬のスポーツであるスキーの技能が習得できた。	
27	おはぎづくり（大貫小児童）	地域の方を講師に招き、大貫小を会場に3小学校合同で実施。児童が田植え、稲刈りをしたもち米を使っておはぎづくりを体験することで、生産者や調理をしてくださる方への感謝の気持ちを高める。（地域学校協働本部事業）	12月19日（1回）	17人	総合的な学習の時間で体験した米作りで収穫した餅米を調理することで地元への理解を深め、地域への感謝の気持ちを持つことができた。当初3小学校合同の計画であったが当校のみの開催となった。	
28	図書ボランティア活用（大貫小児童）	読み聞かせを通して、本に親しむ子どもの育成を図る。（地域学校協働本部事業）	通年（毎週金曜日）	18人	定期的に（週１回）図書ボランティアによる読み聞かせを行うことで、読書への興味関心が高まり読書の幅が広がった。	
29	田植・稲刈り・脱穀体験（横林小児童、PTA総務部）	田植・稲刈り・脱穀体験を通し、食についての意識を高める。（地域学校協働本部事業）	５月～10月（各1回）	21人（85人）	農業体験を保護者、地域の方から学ぶことを通して、食に対する関心を高めると共に日本人が昔から行ってきた稲作りに対して理解を深めることができた。また、地域の方と継続してふれあってきたところからコミュニケーション能力が高められた。	
30	ふれあい学習（横林小児童、長寿会）	グランドゴルフを共に活動することを通して、高齢者との交流を図る。（地域学校協働本部事業）	６月15日（1回）	30人	地域の高齢者とグランドゴルフを共に活動することを通して、交流が図れた。	

31	民話を聞く会 （横林小児童）	語り部の会の方から塩原の民話を聴き地域の理解を深める。 （地域学校協働本部事業）	6月6日 （1回）	30人	語り部の会の方より地元塩原地区の民話を聴くことにより地域への理解を深めることができた。	
32	収穫祭 （横林小児童、PTA総務部、なかよし親子の会）	収穫したコメを調理することを通して、収穫の喜びを味わうと共に食についての意識を高める。 （地域学校協働本部事業）	10月29日 （1回）	31人	自分たちで収穫した餅米を調理することで食に対しての興味関心を高め、地域の方や保護者とのコミュニケーション能力を高められた。また、農業体験から継続して活動したことにより、地域の良さに気付き今以上に地域に愛着を持つことにつながった。	
33	スキー教室（横林小児童、保護者）	より多くの方に指導をしてもらうことで、児童の技術向上と安全を確保する。 （地域学校協働本部事業）	１月27日 （1回）	46人	スキー技術の習得と向上を図ることができた。異学年の集団行動を行う中で励ましあう態度・責任感・公共心を養うと共に保護者・地域の方とのコミュニケーション能力を高められた。また地域の特性を理解し、地域に対し愛着を持つことにつながった。	
34	地域学校協働本部事業ＰＲ	各校等で行った事業の様子をハロープラザ館内に掲示	通年	ー	来館者に向けた事業ＰＲに有効であった。	

6　生涯学習情報の提供・学習活動の支援

No.	事業名	事業内容	期日	評価
1	ハロープラザだよりの発行	地域住民への情報提供手段として広報配布時に合わせて自治会で回覧してもらった。	４～３月 （12回）	班回覧や館内掲示、ホームページへの掲載により、公民館事業の募集や報告の周知に有効であった。
2	ハロープラザホームページの更新	広く情報を発信するために、月1回を目標に記事を更新するよう努めた。	４～３月 （12回）	最新の情報をこまめに更新することができた。
3	ハロープラザ地区子供会育成会連絡協議会支援	単位育成会では取り組みにくい内容を、ハロープラザ地区として取り組んだ。	通年	少子化の影響により活動できない育成会が増えている。少人数でも参加できる事業等を継続的に検討しなければならない。
4	公民館利用団体等育成支援	利用調整会議等を開催し、利用団体と連携を図り、情報提供と活動を支援した。	通年	調整会議は問題なく開催できた。また、感染症対策においても情報の共有を図り対応できた。

7 コロナ禍における新たな取り組み

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	ハロプラギャラリー （作品展）	定期的に活動しているサークルメンバーの発表の場を提供。	6月4・5日		新型コロナウイルスの影響で前年度より延期した事業。発表の場をもうけたことによりサークルメンバーの創作意欲に貢献できた。	
2	ハロプライブラリー （映画会）	公民館まつりの中止に伴い、塩原図書館との共催で作品展に合わせて映画会を開催する	6月5日		娯楽ビデオと地元塩原で撮影された映画を上映し好評を得た。また、映画の全国上映を目的とした募金活動への協力もできた。	塩原公民会との共催

令和４年度　塩原公民館事業報告

１　生涯各期にわたる学びの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	高齢者いきいき講座 （地区内住民）	老人クラブや生きがいサロンと連携し、地域に出向いて実施する。 ①クラフトバンド ②ドラムサークル ③ドラムサークル ④ディンプルアート ⑤クラフトバンド ⑥ドラムサークル ⑦ドラムサークル	①6月23日、30日 （2回） ②6月25日 （1回） ③9月16日 （1回） ④9月28日 （1回） ⑤10月7日 （1回） ⑥10月14日 （1回） ⑦10月19日 （1回）	①12人 （24人） ②18人 ③18人 ④6人 ⑤17人 ⑥11人 ⑦12人	①塩釜生きがいサロン ②上塩原生きがいサロン ③中塩原生きがいサロン ④畑下山ゆりの会 ⑤中塩原和楽会 ⑥古町生きがいサロン ⑦門前生きがいサロン 地区の自治公民館へ出張して行ったことや、地域生きがいサロンが受講者を募集しているため、多くの参加者を得られた。	
2	女性かがやき講座 （地区内住民）	日々の生活に輝きをプラスできるよう、2教室を実施する。 ①女性のための「健康づくり栄養」講座 ②シフォンケーキ作り教室	①11月18日、25日 （2回） ②1月17日 （1回）	①34人 （55人） ②8人	①明治安田生命保険相互会社との共催で実施。受講者から大変公表を得られた。 ②田舎ランド鴫内の調理室を借りて、シフォンケーキ作りを行った。受講者の学習意欲の高さを確認できた。	
3	ギター入門講座 （市民）	クラシックギターの入門講座でギターとふれあい受講生間の親睦を図る。	7月～8月 （7回）	9人 (42人)	初心者向けの講座であったが、受講者の技術向上が図れた。 また、受講者から引き続き練習したいとの話があったことから、昨年から活動しているギターサークルを紹介した。	市民大学連携講座
4	親子ふれあい講座 （地区内住民）	親子でふれあえる「カジカ釣り教室」を塩原漁業協同組合の協力のもと実施する。	9月4日 （1回）	8人	講師の丁寧な指導により、受講者全員がカジカを釣り上げることができ、好評だった。	

5	日中教養講座 （地区内住民）	制作をとおして、生きがいづくり・仲間づくりを図る。 ①さくら染め教室 ②ひな人形作り教室	①10月～11月 （2回） ②1月～2月 （2回）	①6人 （11人） ※内、塩原公民館区は3人。 ②15人 （24人）	①桜の落ち葉で染め物を行いました。受講者それぞれに色が違い、個性ある作品ができて好評だった。 ②手のひらサイズのひな人形を作成。時間が限られている中、受講者はスムーズに作業を進めて作品を完成させていた。	①西公民館との共催
6	スマートフォン等教室 （地区内住民）	実際にスマートフォンを操作しながら基本的な操作方法を学ぶ、シニア向けのスマホ教室を実施する。	6月17日 （1回）	13人	KDDIに講師を依頼して実施。受講者の満足度も高く、次期開催の要望もあった。	
7	滝めぐり講座 （市民）	塩原地区の魅力ある自然を知ってもらう為、塩原温泉ビジターセンターパークコンダクター案内のもと滝めぐりを実施する。	10月27日 （1回）	10人	全員怪我もなく全行程を終了でき、受講者からは「参加してよかった」等の声を聞くことができた。	市民大学連携講座
8	レザークラフト教室 （地区内住民）	革を加工したレザークラフト作品作りを実施する。受講生が革を選びから好きな作品を作る。	10月 （4回）	8人 （29人）	受講生それぞれ、思い思いの作品を制作し、好評だった。	

2　家庭教育の充実

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	塩原小中学校家庭教育学級	学級開き、視察研修、親子レクリエーション教室、自然体験活動などを実施する。 （家庭教育支援事業）	4月～3月 （実施2回、中止3回）	（100人）	新型コロナウィルスの影響により、視察研修、親子レクリエーション教室、自然体験活動が中止。 学級開き、親子物づくり教室を開催。親子のふれあいの場になった。	
2	塩原認定こども園家庭教育学級	視察研修、親子レクリエーション、こども園まつり、家庭教育支援学級（お正月飾り作り、絵手紙教室）などを実施する。 （家庭教育支援事業）	6月～12月 （実施2回、中止2回）	15人	新型コロナウィルスの影響により、視察研修、親子レクリエーション教室、こども園まつりが中止。 家庭教育支援学級にて保護者どうしの交流が図れた。	

3　健康づくり・生涯スポーツの推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	健康ハイキング （地区内住民）	運動をしながら、自然や動植物に触れることで心身の健康づくりを図る。	6月11日 （1回）	23人 ※内、塩原公民館区は10人。	緑豊かな時期に日光戦場ヶ原でハイキングを行うことで、楽しみながら体を動かすことで、受講者同士の交流も図れた。	ハロープラザとの共催
2	健康アップ教室 （地区内住民）	肩・腰・膝が楽になる体操などを実施。 頭を使った運動を入れることにより脳の活性化を図る。	7月～11月 （5回）	16人 （53人）	高齢者でも無理なく心身を動かすことができ、好評であった。	
3	さいかつぼーる大会 （地区内住民）	さいかつぼーるを通して健康増進と参加者相互の交流を図る。	11月 （中止）	－	新型コロナウィルスの影響により中止。	塩原温泉コミュニティとの共催

4　芸術文化活動の推進

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	塩原温泉コミュニティ・公民館まつり	公民館事業の紹介や公民館利用団体・地域団体の活動発表、作品展示、模擬店などを通して地域内交流を図る。	10月16日 （中止）	－	新型コロナウィルスの影響により中止。	塩原温泉コミュニティとの共催
2	塩原温泉コミュニティ・公民館作品展示会	公民館事業の紹介や公民館利用団体・地域団体の作品展示を通して地域内交流を図る。	10月～11月 （9日間）	（150人）	中止となった塩原温泉コミュニティ・公民館まつりの代替で実施。活動団体の活動成果を披露することができた。	塩原温泉コミュニティとの共済
3	パネル展示	公民館事業の周知や利用団体等の活動成果を発表する場とした。	通年	－	展示内容の充実のため、作品募集の周知方法や、展示方法の工夫が必要である。	

5　地域教育力の向上

No.	事業名 （対象）	事業内容	期日 （回数）	受講者数 （延べ人数）	評価	備考
1	菊づくり教室（地区内住民）	菊づくりを通して植物を育てる楽しみと仲間づくりを図る。 小中学校８年生の技術の授業と合同で行う。 （地域学校協働本部事業）	5月～10月 （7回）	市民1人 （7人） 生徒8人 （55人）	菊の栽培技術の習得。 市民と生徒との交流が図られた。	

2	箒川リフレッシュ大作戦	地域の自然について生徒とともに学ぶ。河川の清掃と併わせて河川について学び、カジカ釣りや水遊びを行い、水に親しむ。 （地域学校協働本部事業）	7月27日 （1回）	90人	新型コロナウィルスの影響により規模を縮小して実施。 塩原小中学校児童生徒と認定こども園園児が参加し交流を深めた。河川について知識を深め、水遊び等で水に親しめた。	
3	塩原小中学校文化祭	小中学校、こども園、地域が一体となり文化祭を実施する。 （地域学校協働本部事業）	10月28日 （1回）	110人	新型コロナウィルスの影響により規模を縮小して小中学校のみで実施。 児童生徒たちの作品展示会。	
4	花いっぱい運動	美化活動の一環として小中学校の花壇等に花苗を植栽した。 （地域学校協働本部事業）	通年	(150人)	良好な景観により児童生徒の美化意識が高まった。	

6　生涯学習情報の提供・学習活動の推進

No.	事業名	事業内容	期日	評価	
1	塩原公民館だより発行	「塩原公民館だより」を発行して、公民館講座・教室・事業等の情報提供を行った。	通年 （計12回）	地区内住民に事業実施状況等の情報提供ができた。	
2	地域カレンダーの発行	学校、こども園・地域の各種事業やイベント情報を毎月地域カレンダーとして情報提供を行う。	通年 （計12回）	地域の情報が共有できた。公民館だよりに合わせて発行。	
3	塩原公民館地区子供会育成会連絡協議会支援	塩原公民館地区子供会育成会連絡協議会への活動支援を行った。こどもフェスタ、コミュニティまつりへの参加。親子レクリエーションを行う。	通年	新型コロナウィルスの影響により、親子レクリエーションなどの事業が中止となった。	
4	塩原温泉コミュニティ育成支援	塩原温泉コミュニティ活動への支援・協力、情報提供を行う。	通年	新型コロナウィルスの影響によりコミュニティまつりやさいかつぼーる大会など事業が全て中止となった。	
5	公民館利用団体等育成支援	自主活動グループ等の活動成果の展示場所の提供、各種情報の提供を行う。	通年	新型コロナウィルスの影響により、公民館まつりは中止となったが、作品展示会を代わりに実施した。	
6	塩原地区自治公民館支援	塩原地区の自治公民館への支援・協力、情報提供を行う。	通年	情報提供を行い、活動を支援できた。	
7	塩原地区地域学校協働本部活動	塩原地区地域学校協働本部への支援・協力、情報提供を行う。 本部会議の開催。 （地域学校協働本部事業）	通年 7月12日 3月8日 （2回）	地域全体で子どもたちの成長を支えるため学校と地域の連携が図れた。	

令和４年度　公民館及び関係施設利用状況一覧表

１　公民館

公民館名	主催・共催		自主グループ		公共団体		各種団体		その他		合　計	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
黒磯	88	1,493	1,382	11,663	616	11,859	303	5,327	18	616	2,407	30,958
厚崎	43	1,265	1,608	11,977	32	557	440	3,552	4	126	2,127	17,477
稲村	64	1,575	951	8,062	145	2,141	352	4,384	36	651	1,548	16,813
とようら	61	989	329	1,914	52	689	154	1,788	2	12	598	5,392
鍋掛	76	954	262	1,541	99	1,175	50	509	1	3	488	4,182
東那須野	126	2,862	1,396	10,894	115	1,748	220	2,727	86	166	1,943	18,397
高林	30	585	485	3,238	41	647	317	2,879	128	492	1,001	7,841
西那須野	123	2,482	2,120	17,534	287	3,868	321	3,413	28	296	2,879	27,593
狩野	113	1,778	1,112	7,520	56	781	45	598	0	0	1,326	10,677
南	49	638	742	6,027	5	31	25	473	0	0	821	7,169
西	52	1,099	1,121	10,075	2	61	221	1,578	1	12	1,397	12,825
三島	140	1,843	1,242	10,906	45	782	180	3,568	7	127	1,614	17,226
大山	42	957	1,178	11,634	16	233	139	2,082	2	26	1,377	14,932
ﾊﾛｰﾌﾟﾗｻﾞ	43	985	706	5,223	195	3,385	92	1,140	0	0	1,036	10,733
塩原	49	562	261	1,268	175	4,333	115	1,788	5	44	605	7,995
計	1,099	20,067	14,895	119,476	1,881	32,290	2,974	35,806	318	2,571	21,167	210,210

２　付属施設等

公民館名	グランド		体育館		児童クラブ		その他		合　計	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
黒磯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
厚崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稲村	44	704	0	0	0	0	254	1,085	298	1,789
とようら	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鍋掛	173	3,004	378	3,579	0	0	0	0	551	6,583
東那須野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高林	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西那須野	303	2,865	0	0	0	0	0	0	303	2,865
狩野	271	3,989	0	0	0	0	0	0	271	3,989
南	324	5,768	0	0	256	5,831	224	1,224	804	12,823
西	127	1,775	0	0	261	6,802	0	0	388	8,577
三島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大山	189	2,326			256	28,635	0	0	445	30,961
ﾊﾛｰﾌﾟﾗｻﾞ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
箒根	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塩原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,431	20,431	378	3,579	773	41,268	478	2,309	3,060	67,587

那須塩原市公民館

黒磯公民館	厚崎公民館	稲村公民館	とようら公民館	鍋掛公民館
東那須野公民館	高林公民館	西那須野公民館	狩野公民館	南公民館
三島公民館	西公民館	大山公民館	ハロープラザ	塩原公民館